

令和4年度

事業報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会

令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症は、令和4年度に入っても猛威を振るい、7月の第7波においては、沖縄県内において1日6000名に迫る勢いをみせ、生活福祉資金特例貸付に関する来所相談も7月が最も多くなりました。宮古島市社協においては、生活福祉資金の相談体制を整えることで、十分な相談対応を行い、かつ、フードバンク活動を継続することによって、困窮世帯への支援体制に力を注いできました。

地域福祉拠点事業では、会員会費や共同募金活動も回復基調を見せ、地域福祉に理解・協力をいただいた市民の皆様から、多くの支援を賜ることができ、共同募金配分金事業及び地域福祉活動事業における自治会サポート事業や子育て応援事業を充実させることができます。又、地域包括支援センターをはじめとする高齢者介護予防関連事業では、地域包括ケアシステム構築に向けて、事業間の連携を図り、住み慣れた地域で可能な限り自立した生活を営むための取り組みが進められています。加えて、子育て支援事業は、コロナ過で一部制限はあったものの、事業を継続し、地域で安心して子育てを支援するための役割を果たすことが出来ました。

また、介護保険拠点事業では、新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、事業継続を図り、要介護・要支援高齢者が、地域で安心して暮らしていくための支援を続けることができていますが、人材確保が重要課題としてあります。

今年度の成果として、職員間で意見を出しあい、「誰もが安心して暮らし続けていける福祉のまちづくりを実現します」「地域から必要とされる信頼の社協づくりを実現します」の2つの基本理念を柱とする運営理念を制定することが出来ました。これは、今後の宮古島市社協の組織づくりの指針となってまいります。

重点目標達成状況

AA;100%～86% A ; 85%～51% B;50%～26% C:25%～0%

1. 組織運営、経営基盤体制の強化

毎年の監査により運営チェックが行われており、又、ホームページ等により情報開示を行うことで運営の透明性を確保するとともに、各種規程の新設・改正で組織基盤の強化を図っている。令和4年度は、上半期における新型コロナの感染拡大により、一部介護事業では影響が出ている。

A

2. 職員の資質向上

新任職員研修、現任職員研修を実施し、ハラスマント対策についても研修会を実施できた。各部署において、内部研修だけでなく、新型コロナの収束に伴い外部研修も充実しており、職員の資質向上が図られている。

AA

3. 事業の効率化

生活支援体制整備事業を地域包括支援センター事務所に併設することで、高齢者支援を効果的に行うことが出来ている。又、地域計画推進事業においては、地域相談支援業務の効率化を図るために、業務支援システムの導入を行うことができた。

AA

4. 活動財源の安定確保

新型コロナ活動制限の緩和により、会費や赤い羽根募金活動が実施され、贊助会費等については、前年度に比べ増加しているが、全体的に減収となっており、活動財源確保について取り組みを充実させていきたい。

A

5. 部門間協働の強化

各課内部の会議が充実し、課内各部署における課題や計画等の情報共有が図られている。又、課長会議、役員会議が定期で開催され、情報共有及び懸案事項の協議がなされている。ワンストップ体制については、法人代表番号から各部署への取次ぎが可能となっており、相談者が電話をかけ直すことなく、必要な窓口へつなぐことが出来ている。

AA

6. 活動拠点の安定確保

総合福祉センター建設にむけて、関係団体と連携を図りながら宮古島市へ建設要請を行った。老朽化が進んでいる指定管理施設については、宮古島市担当部署と移設先について協議を行っている。

A

7. 地域福祉活動計画の推進

第3次地域福祉推進計画に基づいた事業計画を策定し、各論において目的を掲げて事業を展開している。根幹となる地域福祉推進計画に基づいて事業展開することができ、課題解決に向けて取り組むことが出来ている。

AA

具 体 的 事 業

評価 (AA=100%~86% A=85%~51% B=50%~26% C=26%~0% D=終了)

I、一人ひとりが福祉の担い手となる人づくり

1. 福祉意識の啓発と機会の充実

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名	内 容		
映画上映会	目的	福祉に関する映画の上映会をすることにより地域福祉活動に対する意識の啓発を行う。	
	内容	広く市民や関係団体へ参加を呼びかけ福祉に関する映画の上映会を実施する。	
	実績	未実施	
	効果 課題	新型コロナウィルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
宮古島市障がい者スポーツ交流大会	目的	障がい者の社会参加の促進、及びあらゆる世代と身体の不自由な方そうでない方の相互理解を深める。	
	内容	障がい者団体・学生ボランティア・意思疎通団体で、ボッチャ大会の実施する。	
	実績	JTAドームにて、ボッチャ及びモルックを用いた交流会を実施。 参加者 ：社協職員7名、宮身協支部会員21名、沖縄県聴覚障害者協会会員5名、宮古総合実業高校ボランティア5名、手話通訳士2名、外部講師1名	
	効果 課題	・障がい者の社会参加促進、意欲向上が期待できる。 ・参加者の、相互関係の強化につながる。 ・ボランティアの交流による障がい者への理解を深める。 ・職員の業務分担の整理、参加者への通知及び広報不足。	評価 A
新入学児童学用品配布事業	目的	児童福祉に関する社会的関心を喚起するとともに、宮古島市の次代を担う子供達の健やかな成長を地域で支え、また地域、民児協、学校、社協との繋がりを持ちながら児童福祉の向上を図る。	
	内容	宮古島市内の新入学児童（小学校入学）へ赤い羽根共同募金配分金を財源に学用品を配布する。	
	実績	市内 15校 629人	
	効果 課題	・新入児童へ学習意欲の向上が期待できる。 ・学校、民生委員児童委員、社協との連携が期待できるとともに、赤い羽根共同募金の使途及び地域の相談支援体制の周知が期待できる。	評価 AA

受託事業

事業名	内 容		
宮古島市長寿大学開催事業（宮古島市より受託）	目的	地域の高齢者が家に閉じこもらず、生きがいを高めるため、また、仲間づくりの輪を広げるためにレクリエーション活動や各種教養講座等を学習することにより充実した日常生活を創造し、健康づくりに寄与する。	
	内容	開講式（5月）、閉講式（3月） 開設講座：書道、大正琴、三味線、クラフト、ヨガ、フラダンス、歌と発声、硬筆・筆ペン、琉舞、日舞。	
	実績	従来の講座に加え、フラダンスやヨガ等新しい講座の開設も行えた。	
	効果 課題	令和3年度より参加人数も増加しており、事業自体は順調に推移している。今後は、広報等による啓発事業にも力を入れ、さらなる参加者の増員に努めていきたい。	評価 AA

2. 担い手となる人材の育成・確保

共同募金、会費等自主財源充当事業		
事業名	内 容	
ボランティアセンター運営事業	目的	宮古島市内の福祉ボランティアを必要とする方とボランティアをやりたい個人・団体をスムーズ及び迅速に繋げるため設置。
	内容	事前に研修会を開催、ボランティア活動に興味はあるが、なかなか踏み出せない団体への斡旋。
	実績	実績資料（2）
	効果課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア依頼により、学校への活動周知及び学生のボランティア意欲向上が期待できる。 ・センターの周知や、ニーズ調査及びマッチング不足。 ・保険加入によるボランティア団体の活動促進に繋がる。
サマーボランティア研修	目的	市内の中・高校生を対象にボランティア活動を始めるにあたっての心構え、障がい者や高齢者へのボランティア活動を行うまでの基礎的な知識などの研修を行うとともに障がい者スポーツ体験、一人暮らし高齢者宅清掃ボランティアなどを通し実践的な活動を体験する。
	内容	講話と施設体験を行う。
	実績	未実施
	効果課題	新型コロナウィルス感染拡大により実施を見送った。
ハンディキャップ体験学習	目的	高齢者、障がい者への基礎的な介助方法や接し方などの理解を深める。
	内容	4月に市内各小中学校へ案内文書を送付し、希望する学校で実施。小中学生を対象に、アイマスク・白杖を用いた視覚障がい疑似体験、手話サークルと同行し聴覚障がい者のコミュニケーション手段の学習、車椅子を用いて基礎的な介助方法の実習を行う。福祉についての基本的な内容や高齢者の権利擁護・認知症について等、福祉講話も併せて行うことにより、高齢者や障がい者への理解を深め、地域共生社会への実現に向けて学びの機会をつくる。
	実績	狩俣中学校、城東中学校、西辺中学校（講話のみ）、伊良部島中学校、下地小学校（学年別で2回実施）、鏡原中学校、平良第一小学校、久松中学校において実施。
	効果課題	疑似体験することでハンディを持つ当事者の思いや不自由さを知ることができ、当事者と向き合う際に丁寧な対応ができると期待できる。コロナウィルス感染予防対策をとりながら体験学習の機会を増やすことが課題といえる。
一人暮らし高齢者宅清掃	目的	地域に住む一人暮らし高齢者との交流と生活環境を整えることにより在宅生活を続けられるようにする。
	内容	民生委員の紹介で地域に住む一人暮らし高齢者宅へサマーボランティア参加の学生が訪問し、清掃活動を行いながら交流を深める。サマーボランティア研修と連動し、参加学生に実施してもらう。
	実績	サマーボランティア研修との連動を計画していた為、未実施
	効果課題	新型コロナウィルス感染拡大により実施を見送った。

事業名		内 容	
宮古地区障がい者スポーツ大会のボランティア募集	目的	宮古地区障がい者スポーツ大会のスムーズな運営協力	
	内容	大会参加者の移動支援及び、競技実施中の援助。 運営スタッフとして、大会役員の指示に従い各競技への協力をを行う。	
	実績	未実施	
	効果 課題	宮古地区障がい者スポーツ大会は実施されたが、規模縮小の為、大会運営本部にてボランティアの募集は行わないとの決定により、未実施となった。	評価 C
ボランティア団体への助成	目的	学校ボランティア・ボランティア団体へ助成を行い、ボランティア活動の充実強化を図る。	
	内容	各学校及び、社協ボランティアセンターへ登録しているボランティア団体へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金交付。	
	実績	・一般ボランティア団体 20,000円×7団体へ助成 140,000円 ・学校ボランティア団体 20,000円×3団体へ助成 60,000円 ・ボランティア助成金予算720,000円 助成額200,000円 執行率27.8%	
	効果 課題	・助成金の交付により、活動強化が期待できる。 ・二次募集まで行ったが、まだまだコロナ禍の影響もあり、未申請が多くなった。 ・広報誌やホームページで周知が必要。	評価 B

II、地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

1. 地域で支え合う仕組みづくり

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名		内 容	
ふれあいいきいきサロンの推進	目的	高齢者の交流の場への助成により高齢者の外出の機会を増やし引きこもりを減らすことにより在宅生活の充実を図る。	
	内容	地域のボランティアを中心とした高齢者の交流の場となるサロンへ助成を行う。	
	実績	実績資料（3）	
	効果 課題	新型コロナウィルス感染症も落ち着きを見せ始め各サロンとも活動を開始し始めている。参加者が高齢になつたことで1か所活動停止したサロンがあった。各サロンへの定期的な訪問ができるおらず良好な関係構築ができていない。	評価 A
サロン代表者会議の開催	目的	ふれあいいきいきサロン代表者対象の勉強会実施	
	実績	令和4年6月に開催	
	効果 課題	代表者を一堂に会し助成金の交付を行うと共に、地域包括支援センター職員による講話をを行っている。	評価 A
防災訓練・災害時ボランティアセンター開設訓練	目的	災害発生時の災害時ボランティアセンター開設を迅速に行うため、職員の防災意識向上と危機管理意識向上のため訓練を行う。	
	内容	大規模災害発生を想定し、災害発生から災害時ボランティアセンター開設までを職員を対象に訓練を行う。	
	実績	第1回災害ボランティア協定に基づく研修会を6月と8月に開催。 市が主催する災害伝承プロジェクト防災講演会に職員が参加。	
	効果 課題	研修会で災害ボランティアセンターの役割を学ぶことで、令和5年度実施予定の防災訓練・災害時ボランティアセンター開設訓練に繋がる研修となつた。	評価 A

事業名		内 容	
各センター防災訓練	目的	火災発生時利用者、職員の迅速な避難と被害を最小限にとどめるため避難誘導等の訓練を行う。	
	実施時期	防火管理者を中心に訓練計画を作成、消防本部と連携し119番通報、初期消火、避難誘導、避難後の人員確認等を訓練を行う。	
	実績	社会福祉センター、小規模多機能型居宅介護事業所たかやま、小規模多機能型居宅介護事業所さや一ぎで実施。	
	効果課題	現在、社会福祉センター、小規模多機能型居宅介護事業所2か所に防火管理責任者を配置しているが、同様に平良、伊良部、上野老人福祉センターにおいても防火管理者を配置し年に1回防火訓練を実施できる体制を整えたい。	評価 B
防災関連団体連絡会	目的	大規模災害発生時に迅速な対応を円滑に行うため、定期的に関係機関で協議を行う。	
	実施時期	宮古島市役所防災危機管理課、福祉政策課との連絡会。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウィルス感染拡大により実施を見送った。	評価 C
宮古島市地域福祉計画推進事業(宮古島市)	目的	ふれあい総合相談支援センターにコミュニティーソーシャルワーカー(CSWという)を配置し、地域福祉活動のネットワーク化の推進等を図ることによって、地域で福祉的支援を必要とする市民(要援護者)への支援を行うとともに、要援護者の自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域福祉の向上を図ることを目的とする。	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①小地域福祉活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とCSWの信頼関係の構築と強化 ・住民へ福祉に関する情報提供及びCSW活動の周知 ・地域の特徴や住民のニーズ把握 ②小地域ネットワークへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・小地域ネットワークの構築、拡充、強化、周知等 ・地域見守り活動支援等各団体への活動協力 ③要援護者への相談対応・支援 ④関係機関との体制づくり <ul style="list-style-type: none"> ・CSW事業関連会議、研修会への参加 ⑤CSW活動の広報活動 ⑥日本語教室への支援 ⑦新たな福祉サービスの研究・開発 	
	実績	<p>※①②③④⑥は実績資料(4)</p> <p>①、②、③も実績資料参照。 ①⇒小地域ネットワーク(地域づくり支援事業) ②⇒小地域ネットワーク(地域ニーズに沿った支援) ③⇒年間相談件数、ケース会議開催状況 ④ケース検討会開催や各関係機関・団体等との連絡会等参加・ ⑤自治会サポート事業への参加及び地域福祉懇談会、少地域ネットワーク開催 積極的な研修参加によるCSWの資質向上 ⑥宮古島在住外国人活動支援⇒日本語教室実施状況 ⑦ふれあい総合相談支援センター事業の実施</p>	
	効果課題	学校との提携、協働は前年度から継続され前講座等で児童生徒に社協やCSWの業務を伝える事ができた。コロナ禍でも小地域ネットワーク、地域福祉懇談会は実施できた。ただし、小地域ネットワークや地域での見守りを担っている住民が高齢化しているため依然厳しい状況にある。	評価 AA

2. 地域活動の活性化支援

共同募金、会費等自主財源充当事業		
事業名	内 容	
地域見守り声掛け事業	目的	民生委員児童委員の『友愛訪問』の一環として、地域の世帯を訪問し、民児協、社協との連携により問題・課題の早期発見や早期解決を図る。
	内容	宮古島市民生委員児童委員協議会との共同事業。地域の民生委員の『友愛訪問』の一環として、見守りが必要と思われる世帯を訪問し、民児協、社協との連携により課題の早期発見や解決に向けた取り組みを行う。
	実績	平良第一、平良第二、城辺、下地上野、伊良部の5地区の民児協と連携しながら、令和5年3月に家具転倒防止グッズの配布・設置と併せて「友愛訪問」を実施。
	効果 課題	家具の転倒による怪我のリスクについての説明と併せ、防災グッズの配布および設置を行いながら地域の高齢者世帯へ声掛けを行うことで、地域の防災意識を高めるとともに見守り活動を通した課題の早期発見、早期解決への取り組みが期待できる。
民生委員児童委員活動の支援協力	目的	民生委員児童委員と社協は常に「車の両輪」であるため、民生委員児童委員活動の重要性を充分に認識、理解し、積極的に支援協力をを行うことにより地域の福祉向上に繋げる。
	内容	支援協力事項 (1) 定例会への協力 (2) 友愛訪問の支援 (3) 福祉カルテの整備協力 (4) 各地区間の交流と研修会の開催 (5) 民児協活動に関する連絡調整 (6) 民児協活動への支援 (7) 民児協事務の協力(事務担当者の配置) 等
	実績	市民児協：役員会4回、総会2回の実施。事業計画や予算等について協議。一斉改選に伴う事務および各機関との連絡調整、表彰関係、互助事業関係を行った。
	効果 課題	新型コロナウィルス感染拡大防止対策を講じながら、活動を再開。一斉改選の年でもあり、各関係機関と密に連携をとりながら式典や表彰等の準備を進めることができた。 また、沖縄県社会福祉大会、沖縄県民生委員児童委員大会へ事務局含め多数の委員が参加できた。
福祉団体等助成事業	目的	活動資金としての助成を行うことにより活動を活発にし地域力の向上と住みよい地域づくりが実現できるようにする。
	内容	宮古島市老人クラブ連合会、宮古島市身体障害者福祉協会、宮古地区手をつなぐ育成会、宮古地区身体障害者連合会、宮古島市母子寡婦福祉協会、宮古島市内の申請自治会（自治会サポート事業）へ助成を行い各団体の活動強化を図る。令和4年4月に各当事者団体、自治会へ郵送で案内し、希望する団体へ内容を審査し助成金を交付。
	実績	※自治会サポート事業実績は実績資料 (5) 自治会サポート 20,000円×23地区 460,000円助成 執行率92% 平良地区12件 城辺地区7件 伊良部地区1件 下地地区1件 上野地区2件 当事者団体助成金11団体に、380,000円助成 執行率54.3%
	効果 課題	少しづつ活動を再開する団体が増え、助成による世代間交流や、環境整備等のボランティア活動により、住民相互の関係強化に繋がった。実施タイミングの見直しや周知活動が必要。
ふれあいおはなしフェスティバル	目的	宮古島市内で活動する、読み聞かせの会等の団体が一堂に会し日頃の活動内容を発表し相互の連携や情報の交換を行うことにより、今後の活動へ生かす。
	内容	コロナの影響により、代替え事業として、読み聞かせ助成金を実施。
	実績	市内小学校14校へ合計182,000円を助成金として交付。
	効果 課題	市内16校の小学校があるが、14校が申請を行い各小学校の児童の読み聞かせに役立つ助成金となつた。ただし、あくまでも代替事業としての助成であつたため、次年度以降は、感染対策を講じながら本来の事業計画に基づき、ふれあいおはなしフェスティバルを実施できるよう準備を進める必要がある。

事業名	内 容		
宮古地区障がい者スポーツ大会への係員派遣	目的	宮古地区障がい者スポーツ大会のスムーズな開催運営。	
	内容	大会役員として職員を派遣する。 宮古地区障がい者スポーツ大会実行委員会との共同事業。	
	実績	大会役員1名・競技役員8名を派遣した。 競技役員内訳（音響1名・集計2名・出発1名・スターー2名・投技2名）	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 大会本部の指示の下、スムーズな運営を行った。 大会規模縮小の為、ボランティアを募集しない中、各々が連携しあい実施できた。 	<p>評価</p> <p>AA</p>
宮古地区知的障害者スポーツ大会への係員派遣	目的	係員派遣を行うことでスポーツ大会の円滑な運営に寄与するとともに、宮古地区的障害者団体と連携を強化する。	
	内容	職員を派遣する。 宮古地区手をつなぐ育成会との共同事業。	
	実績	会長出席、ニューススポーツ用具貸出（4種目）	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 会長の来賓挨拶が行われ、参加者の意欲向上が図られた。 用具貸出により、参加者の親睦と交流を図るという目的に貢献できた。 	<p>評価</p> <p>A</p>
沖縄県身体障害者スポーツ大会への介助員派遣	目的	介助員を派遣することで、スポーツ大会へ障害者が参加しやすい環境を作ることに寄与し、障害者の社会参加を促進する。	
	内容	沖縄県総合運動公園で開催される沖縄県身体障害者スポーツ大会選手の介助員派遣。 宮古身体障害者連合会との共同事業。	
	実績	地域福祉係2名を介助員として派遣。	
	効果 課題	<ul style="list-style-type: none"> 出場選手の生活援助及び同行支援を行う事で、選手全員がメダルを獲得でき、目標達成に協力する事ができた。 	<p>評価</p> <p>AA</p>
宮古地区障がい者フェスティバル	目的	多くの障がい者とボランティアの交流の場としてのフェスティバルがが滞りなく開催できるよう支援する。	
	内容	宮古地区社協連絡協議会が開催する宮古地区障がい者フェスティバルへの事業費負担、大会運営及び係員派遣。 宮古地区社協連絡協議会との共同事業。	
	実績	未実施	
	効果 課題	新型コロナウィルス感染拡大によりフェスティバルが中止となつたため。	<p>評価</p> <p>C</p>

受託事業			
事業名	内 容		
介護予防普及啓発事業（生きいき教室）	目的	生きがいと社会参加を促進すると共に、家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者等に対して、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図る。	
	内容	概ね70歳以上の元気な高齢者対象 ①高齢者介護予防の取り組み ②ピクニック等の実施	
	実績	※実績資料（6）	
効果課題	新型コロナウイルス感染が落ち着いてきたことから、利用件数は増加している。 未開催の地域があり、その地区から利用希望がある場合の対応が難しい。 利用者1名あたりの委託金額が少なく利用者増を目指すための職員の増員が難しい。また車両の老朽化による修繕が必要となってきており、事業継続の為にも安定した事業収入と車両の整備が課題となっている。 宮古島市高齢者支援課と連携をより緊密にし、健全な事業実施ができるように協議を進める。		評価
			B

3. 情報提供体制・相談支援体制の強化

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
社協だよりの発刊	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようする。	
	内容	宮古島市社会福祉協議会の様々な事業等を掲載し宮古島市内全戸、（広報みやこじまし配布世帯）、特別会員へ配布。	
	実績	事業課で毎回1ページ使用し事業課の広報活動、非常勤募集を行った。 広報委員会を設置して多くの意見を反映させる体制を整備した。	
効果課題	通常サービスの様子、職員募集、サービス利用者の募集などを積極的に掲載する。広報委員会の設置により様々な意見を取り入れて新たな広報活動の展開につなげる。地域住民へ広く周知が必要と考えられる社協会費や共同募金に関する内容が実施期間と連動できるよう発刊時期の工夫を行う。		評価
			AA
ホームページの活用	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い活動への理解と協力が得られるようする。	
	内容	事業計画、資金収支予算、事業報告、決算報告、定款、各種規程等、新着情報、フォトレポートなど様々な情報を公開・発信する。	
	実績	決算関係資料や各種規程等の開示の他、フードバンク活動、寄附、事業所通信、新たなマスクットの発表等の情報を発信することが出来た。現在、広報委員会でホーリーページ改修案が検討されているところである。	
	効果課題	新型コロナ活動制限の緩和により、様々な事業を実施することが出来ておらず、活動の内容を周知することが出来ている。新たなマスクット「みやっこ」が誕生したこと、活躍の場を広げていきたい。	評価
		A	

事業名		内 容	
マスコミ、宮古島市広報誌の活用	目的	市民、関係団体、会員等へ活動・事業実施内容等の報告を行い社協活動への理解と協力が得られるようにする。	
	内容	様々な事業実施に伴う情報や事業実施状況をマスコミや宮古島市の広報誌を活用し情報発信を行う。	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学童募金21校を新聞2社で報道紹介 ・歳末たすけあい義援金伝達式報道 ・災害ボランティアセンター研修会の新聞報道 ・新入学児童へ学用品贈呈について新聞報道 ・長寿大学募集や日程を新聞報道で周知、開講式や閉講式の記事掲載し広報 ・介護予防普及啓発事業募集や日程等を新聞報道で周知 ・フードバンクについて新聞等で報道 <p>新聞掲載回数 2社合計 693回</p>	
	効果 課題	長寿大学や各地域生きいき教室の予定をマスコミ及び宮古島市広報誌へ掲載したことにより利用者が日程を確認しやすくなっている。共同募金配分機事業の内容や、宮古島市社協が実施している事業を新聞に掲載することで、市民への福祉啓蒙に繋がって入る。	評価 AA
各介護事業所活動内容の広報	目的	宮古島市社会福祉協議会で行っている、介護保険事業、障害者総合支援事業等の活動内容、事業内容を広報するため、ホームページやチラシ、掲示板等を利用し広報活動を行う。	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能居宅介護事業所きゃーぎ及びたかやまが発行する「たより」を各施設前に掲示場を設置し掲示するとともに、ホームページ新着情報へ掲載。 ・社会福祉センター、各老人福祉センターへ掲示板を設置し、各センターで行っている事業の広報及び内容を掲示板に掲載する。 	
	実績	ホームページ上で小規模多機能型居宅介護事業所の広報誌を掲載。又、各事業所において、事業所たよりを玄関先に掲示している。 介護サービス情報公表システムへ毎年情報を公開しているとともに、外部評価の結果を事業所へ掲示している。	
	効果 課題	ホームページ上に事業所たよりを掲載することで、幅広い層に事業所の様子を伝えることが出来ている。又、事業所の来訪者に対し、玄関先に事業所たよりを掲示することで、活動の様子をうかがうことでき、情報発信に繋がっている。 外部評価は事業所玄関先に設置されており、来訪者に対し事業所の評価を発信している。	評価 AA
広報委員会	目的	広報活動について幅広い意見を得て広報について検討する。	
	内容	社協だより、ホームページの内容を検討するほか、広報活動全般について意見を交わし、より効果的な広報活動につなげる。	
	実績	令和4年度は、計6回の広報委員会を開催。各課から2名及び民生委員から1名委員となっていただき、多角的に意見を交換することが出来た。その中から、広報誌の改善やホームページの改修などの実施にむけて検討がなされた。又、宮古島市社会福祉協議会のマスコット「みやっこう」が公募により誕生し、新たな広報アイテムを備えることが出来た。	
	効果 課題	社協だよりは、カラー版となり、表紙に職員の顔とメッセージが掲載されるなど、委員の意見により新しい印象となった。又、ホームページについても改修案が現在進行中であり、よりよくなることが期待できる。	評価 AA

受託事業		
事業名	内 容	
地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）（宮古島市より受託）	目的	親とその子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや、ボランティアを活用しての育児相談などを行う場を身近な地域に設置する事により、子育て中の親の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て、子育ちができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図る。
	内容	利用対象乳幼児（0歳～5歳）とその親等 ①子育て親子の交流、つどいの広場の提供 ②子育てに関する相談、援助の実施（子育ての悩み相談等） ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ⑤関係機関との連携 ⑥積極的な研修参加による職員の資質向上
	実績	※利用状況については実績資料（7） コロナ禍であったが、人数制限しながら、昨年度以上の稼働率があり、行事も規模縮小しながら月1回～2回の頻度で開催することができた。
	効果課題	前年度以上に実施することが出来た。コロナの感染拡大による受け入れ休止の際に、利用親子へのサポートを充実させていく必要がある。 <div style="float: right;">評価</div> <div style="text-align: center; margin-top: -20px;">A</div>
地域包括支援センターひらら、みやこ（宮古島市より受託）	目的	介護・医療・保健・福祉などのさまざまな面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。高齢者の皆さん的心身の状態に合わせて地域で自立して生活できるように「介護予防の支援」、虐待の相談や成年後見制度活用の支援など「高齢者の権利を護る」支援、包括的・継続的に「住みよい地域づくり」支援を行う。 地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実現に向けた中核的な機関として市町村が設置。 宮古島市地域包括支援センターひらら（平良圏域） 宮古島市地域包括支援センターみやこ（平良圏域以外）
	内容	地域包括支援センターの主な業務は次の5つ。高齢者の保健医療の向上及び福祉増進の包括的支援事業。 ①介護予防ケアマネジメント業務 ②総合相談支援業務 ③権利擁護業務 ④認知症カフェの実施 ⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援業務一体的に実施
	実績	※件数等については実績資料（8）
	効果課題	新型コロナウイルスでの事業制限もあったが、開催方法の工夫で実施できた事業もあった。人数・場所・リモートの活用感染予防対策などを工夫しながら、実施していくようにしていく。 <div style="float: right;">評価</div> <div style="text-align: center; margin-top: -20px;">A</div>

介護保険関連事業			
事業名	内 容		
居宅介護支援事業	目的	介護サービスに関する申請の代行や介護認定を受けた後に、在宅で介護を必要としている要介護者(要支援者)やその家族の状況、生活環境、意向に応じたケアプランを、介護支援専門員(ケアマネージャー)が作成し、そのプランに基づいて、適切な居宅サービスが提供されるよう、事業者関係機関との連絡調整を行うなど、在宅での介護支援を行う。	
	内容	アセスメント、ケアプラン作成、担当者会議開催 モニタリング、給付管理業務、介護相談業務	
	実績	※件数については実績資料（9）	
	効果課題	困難事例など他事業所や関係機関と連携を図りながら解決方法などをうまく模索する事ができた。また、研修なども積極的に参加しスキルアップすることができた。 課題として、現任の介護支援専門員の退職が決まっており、後任や補充の目途もたっておらず、今後、要介護者や要支援者の増加が見込まれる中で新規の申込者に対応できる事ができないという不安がある。	評価 B
特定相談事業	目的	障害のある方やご家族から障害福祉サービスを利用するにあたっての相談や、日常の相談を受付、障害福祉サービスの利用計画の作成を行い、在宅生活、在宅サービスを受ける支援を行う。	
	内容	さまざまな障害福祉に関する相談に対応し、障がい福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画を作成する計画相談及びモニタリングを行う。	
	実績	※件数については実績資料（10）	
	効果課題	平良地区以外の利用者が半数以上を占めており、城辺、伊良部、下地、上野地区の利用者支援に効果を上げている。 審査会の開催状況によりプランの変更等、急な変更に対応できないことがあり、サービスが滞るおそれがある。	評価 A

Ⅲ、誰もが安心して暮らしていくまちづくり

1. 権利擁護の仕組みの充実			
受託事業			
事業名	内 容		
日常生活自立支援事業（権利擁護）	目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不充分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行うことにより、在宅での自立生活を支援するため実施。	
	内容	①生活支援員連絡会の定期的な開催（3回/年） ②行政や関係機関との連携強化 ③積極的な研修参加による専門員の資質向上	
	実績	※件数等については実績資料（11）	
	効果課題	一人で生活することが不安定な状況であっても、本事業等を活用することで、本人が希望している生活が可能な限り継続できている。（職務についての評価：A） 専門員減に伴い、新規相談受付、契約を一時停止している状態。次年度新規相談受付開始に向け、専門員、支援員の負担にならないよう配慮し計画を立てていく必要がある。	評価 B

事業名		内 容	
法人後見受任事業（宮古島市より受託）	目的	判断能力が不充分なために意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人又は補助人に就任することにより本人の権利擁護を図り、もって地域福祉の推進に寄与する。	
	内容	①サービス内容；財産管理と生活上の相談や利用者の安心生活のため 身上監護を行う ②被後見人の適正な決定；運営審査委員会を設置し、専門家の意見により 後見人等の受任の判断を行う。 ③関係機関との連携；宮古島市、各種施設、日常生活自立支援事業と 連携し後見の必要な市民の適正な利用を推進する。 ④積極的な研修参加による専門員の資質向上；研修会等へ積極的に参加 することで専門員の資質向上を図り、柔軟な対応ができる専門員の質 の向上を図る。	
	実績	※件数等については実績資料（12）	
	効果 課題	判断能力の低下や親族不在等により、不安定な生活 を送ってきた本人が、本事業を活用することで、安 心、安定した生活を送ることが可能となった。また、 本事業が後見人として活動するだけでなく、親族後見 人をサポートすることで、受け皿の拡充にも努めてい る。法律相談を設け専門員の法的知識の向上へもつな がっている。	評価 AA

2. 困難を抱えた市民への支援

共同募金、会費等自主財源充当事業

事業名		内 容	
法外援護給付金	目的	宮古島市に居住する緊急かつ一時に生活援助を必要とする生活困窮者 (世帯) に対して、当面の生活維持を図る。	
	内容	1回に限り商品券を支給する。	
	実績	申請数8件、給付4件、却下4件	
	効果 課題	緊急的な支援が必要な際の「食費」を中心に考え方 品券で対応しているが、相談の際にはサービスを受け るために必要な費用や、通院費用等が捻出できない状 況が見られた。今後は適用の範囲を柔軟にできるよう 検討したい。	評価 A
子育て応援事業	目的	生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭と子育てに必要な情報提供や 関係機関との繋がりを持ち子育てへの不安を少なくする。	
	内容	生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭へ子育てに必要な情報提供や 関係機関との繋がりを持つことを目的とし、その一環として児童委員や母 子推進員と連携し1回に限りオムツを支給する。	
	実績	・平良地区214世帯 ・城辺地区 5世帯 ・上野下地地区16世帯 ・伊良部地区 12世帯 ・困窮世帯 72回	
	効果 課題	課題として、新型コロナの影響で困窮世帯の増加が 見られるため今後もCSWなどの関係機関と連携し応援を 継続。	評価 A

事業名		内 容	
地域歳末たすけあい配分金事業	目的	生活困窮世帯や高齢者世帯、社会的ハンデを抱える世帯等が、明るい新年を迎えるよう義援金を配布する。	
	内容	生活困窮者世帯や高齢者世帯等を対象として10月～11月頃に民生委員へ調査協力を依頼し、配分委員会を経て該当世帯へ12月末に歳末たすけあい義援金配分金を支給する。義援金は当年度12月より募金を集め当年度中に配分する。	
	実績	※利用状況等については実績資料（13）	
	効果 課題	民生委員の調査では例年通りの対象者数であるが募金実績が十分ではなく、配布義援金額が前年度よりも下回った。今年度は街頭募金を行うことで不足分を補うことが出ているが不十分であった。次年度は街頭募金活動箇所の増やすことが必要。	評価 A
母子会交流会	目的	宮古島市内のひとり親世帯相互の情報交換や交流を深める。	
	内容	宮古島市母子寡婦福祉協会とクリスマス交流会を共催。	
	実績	母と子の集い クリスマス会の実施。	
	効果 課題	普段見慣れない音楽演奏やサンタクロースの登場等親子で楽しむことができた。	評価 AA
フードバンク『んまんま』事業	目的	生活困窮世帯の自立支援	
	内容	地域の人から食料の寄付を受け、生活が困窮している人へ提供する。担当は地域福祉係及び宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業担当者。	
	実績	※利用状況等については実績資料（14）	
	効果 課題	企業団体、個人から寄贈の申し出を受けるなど活動が地域に知られるようになった。生活に困った方が自らSNSや電話で連絡を下さり、利用につながるケースが増えた。今年度は年間23回の食品寄贈があり企業・団体・住民にも周知された。	評価 A
相談対応職員等スキルアップ研修	目的	相談対応職員等のスキルアップを図るため、研修などに参加させ、困難を抱えた市民への対応力を強化し心の健康づくりを推進する。	
	実施時期	自主的な研修と外部研修への参加を推進し経費を負担する。	
	実績	※研修実施状況については研修実績参照	
	効果 課題	新型コロナウイルス感染拡大のため研修等の中止が多かったが、ZOOM等を利用した会議へは担当職員が参加した。	評価 A

受託事業			
事業名	内 容		
宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業（宮古島市より受託）	目的	年齢や性別、置かれている生活環境などにかかわらず、地域において誰もが安心して生活を維持できるよう地域住民による共助の活性化を図ることと生活困窮者を始め、支援が必要な人と地域とのつながりを作り、これらを地域全体で支える基盤を構築し、地域福祉を推進させる。	
	詳細	①フードバンク活動のさらなる周知と拡充（フードボックスの増設 観光客を含めた周知、利用世帯を増やす。） ②市民講習会の実施（年間5回以上） ③SDGsの周知 フードバンク活動は困窮への対処療法として行い、市民講習会は困窮者が潜在的に持っている自己肯定感の問題へのはたらきかけとして行う。表面化した状況と根本的な対策の両面からアプローチし、現在から将来へ渡っての普遍的な効果をねらう。また、近年話題に上がってきた国連のSDGsを用い、貧困が個人の責任ではなく社会問題として捉えられるように啓発を行う。	
	実績	※件数等については参考資料（15） ・フードバンク活動 17,267品目の提供 ・市民講習会 9回 ・フードボックスや理想通貨等、様々な団体との協働を通して支え合いの基盤作りを進めた。	
	効果課題	① 上記『フードバンクんまんま活動』報告に同じ ② 終活講座が人気となり5回の開催となった。 ③ SDGsを活用した取り組みから、地域の企業団体が地域の支え合いに目を向けて、積極的なかかわりを持てる状況が生まれた。 課題としては、支え合いの基盤づくり事業の役割の大きさと比べて人員が少ないが、増員が見込めていない。	評価 A
生活福祉資金貸付事務（沖縄県社会福祉協議会より受託）	目的	低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金の貸付申請の相談受付を行います。	
	詳細	(1) 福祉資金・緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金・不動産担保型生活資金 (2) 臨時特例つなぎ資金 (3) 特例貸付	
	実績	※件数等については実績資料（16）	
	効果課題	コロナ禍において生活困窮に陥る世帯に対して、緊急小口資金特例、総合支援資金特例を通じ、一定程度ではあるが安定した生活基盤を整えることができた。今後の課題として、特例貸付によって一時的に困窮状況の改善ができた世帯も、根本的な解決には至っていないケースもあるため、その世帯へのサポートも必要であると考える。	評価 A
くらしのサポート事業（自主事業）	目的	介護保険、障害者総合支援事業等のメニューで行えないサービスを行い在宅生活が円滑に過ごせるようにする。	
	詳細	宮古島市社会福祉協議会独自で実施。 宮古島市社協指定訪問介護事業所しやきょう（上野老人福祉センター内）	
	実績	※件数等については実績資料（17）	
	効果課題	介護保険サービスや障害者総合支援サービスで対応できない利用者に対して必要な支援を行うことで制度を受けられるまでの生活等の支援に効果を上げている。 職員不足により新規受け入れは難しい。	評価 C

3. 福祉活動の拠点整備

共同募金、会費等自主財源充当事業			
事業名	内 容		
宮古島市総合福祉センター設置に向けた取り組み	目的	宮古島市社会福祉協議会やボランティア団体、当事者団体等の活動拠点の中心的施設と中福祉圏域拠点の施設整備を図り福祉活動の円滑な推進を図る。	
	詳細	宮古島市と協働し、宮古島市社会福祉協議会や当事者団体、市民が利用しやすい場所にするため計画の段階からの参画が出来るよう要請行動と早期設置を要望する。	
	実績	関係団体とともに、7月12日に宮古島市役所を訪問し、総合福祉センター建設要請を行った。	
	効果 課題	総合福祉センター要請は新聞報道も行われ、市民へ周知された。各福祉団体が連携して福祉活動を行うことが出来る拠点として、今後も要請を継続していく必要がある。	評価 A
受託事業			
事業名	内 容		
宮古島市生活支援体制整備事業	目的	高齢者の多様な日所生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図っていく事を目的に実施。	
	詳細	地域に出かけ、具体的なニーズの収集、社会資源等のマップ化、協議体の設置、新たな生活支援サービスの検討など、介護保険に頼らずに生活を続けられる地域づくりを目指す。 ①高齢者の生活ニーズの収集 ②社会資源等の把握とマッチング ③住民同士で考える協議体の設置 ④新たな生活支援サービス等の検討などを行い、【介護保険に頼らない暮らし方】、【最後まで暮らし続けられる地域】を目指して取り組んでいく。	
	実績	○活動区分：訪問140件、来所1件、会議29件、協議体2件、その他26件 合計198件○活動内容：社会資源の把握2件、対象者の把握と支援へのつなぎ3件、生活状況やニーズの把握と整理29件、支援や支え合い等とのマッチング3件、地域関係者との関係づくり50件、関係者との協議、協働3件、行政との連絡、連携1件、協議体、SC会議への参加46件、その他5件 合計142件	
	効果 課題	・買い物支援と地域との関わりが少ないことがニーズとしてあがり、区長や地域、民間企業を結び付け、あじまあ号を配置することが出来た。 ・地域から一人暮らしの高齢者が多いので、簡単な栄養食を知りたいという声があった為、包括支援センター管理栄養士にレシピを依頼し料理教室を開催。	評価 A
宮古島市地域介護予防活動支援事業	目的	高齢者が誰でも参加できる住民主体の通いの場の充実と生きがいづくりを目的とし、併せて介護予防活動のボランティア人材育成及び地域へのアウトリーチ、広報等を通した介護予防活動を行う。	
	詳細	心身の機能低下の予防・向上を図る観点から、利用者の状況・ニーズに応じて、介護予防・利用者同士の交流・レクレーションなどを行う。 おもりを使った筋力体操であるいきいき百歳体操も通いの場に含む。 ①通いの場事業/月2回（基本） 通いの場へのボランティアへの支援（毎月） ②いきいき百歳体操…週1回（基本）※場の状況に応じて回数増可能 いきいき百歳体操ボランティアへの支援（毎月） ③生活支援の担い手に係る企画 既存の通いの場、いきいき百歳体操支援ボランティア支援（毎月） ボランティア養成講座や通いの場・いきいき百歳体操新聞発行等、研修及び情報発信。	
	実績	※件数等については実績資料（18）	
	効果 課題	コロナ禍で休止期間中は、通いの場のボランティアによる見守り活動で参加者の様子がわかる。メディアや社協ホームページを活用し、知つてもらう機会が増えた。専門職派遣（認知症、口腔ケア、栄養等）、外部講座（終活、消費者トラブル）も好評で今後も継続していく。通いの場が新しく立ち上がる一方、高齢により、後任のボランティア不足が課題。	評価 A

事業名		内 容	
宮古島市指定管理者運営事業 (宮古島市より指定)		目的 社会福祉センター、老人福祉センターの維持管理等。	
詳細 老人福祉センター（平良、伊良部、下地上野）及び社会福祉センターの運営を行う。			
実績 ※件数等については実績資料（19） 新型コロナの感染拡大により高齢者事業において一時活動制限はあったものの、その後、活動制限も緩和され、利用実績は安定し、民生委員、老人クラブ等各団体の利用もありサービスは確保できている。			
効果 課題 長寿大学、生きいき教室、ワイドー教室等、高齢者活動に幅広く利用され、老人クラブの会議等もこれまで通り行われており、地域の高齢者活動支援の拠点となっている。		評価	AA

IV、自主財源確保と組織体制強化に向けた取り組み

1. 自主財源確保に向けた取り組み			
共同募金、会費等自主財源充當事業			
事業名		内 容	
令和4年度社協一般会員会費説明会		目的 自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
		詳細 行政連絡員、自治会長を対象に社協会員会費説明会及び戸別会費徴収依頼。（5地区にて順次開催）	
		実績 ※件数等については実績資料（20） 令和4年度は、上野地区・城辺地区・伊良部地区・下地地区・平良地区の5か所にて開催。	
		効果 課題 説明会を行うことで会費についてだけでなく、社協が実施している事業についても説明が行えた。会費の集金方法への助言（チラシ作成）や、民生委員について、自治会長への相談状況等、様々な意見交換もできて有意義な説明会もあった。各地区とも参加者が少なく開催時間の変更を検討すべき。	評価
			A
令和4年度社協会員募集		目的 自主財源確保と社協活動の説明を行い理解を深めてもらう。	
		詳細 市内の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ会員会費の募集を行う	
		実績 ※件数等については実績資料（20）	
		効果 課題 戸別会費は行政連絡員を招集し説明会を開催し協力と理解を求め、意見交換も行えた。賛助会費の依頼は文書での依頼であるが、特別会員会費は依頼文書を直接事業所へ訪問し届けることで社協の啓発活動にも繋がっている。しかし未だに社協活動の周知が不十分で、社協会費の協力を仰ぐためにもより一層の周知活動が必要である。	評価
			A
赤い羽根共同募金説明会		目的 自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	
		詳細 自治会、職場等を対象に募金の趣旨説明を行い募金の協力依頼をする。	
		実績 ・平良地区・伊良部地区・城辺地区 ・上野地区・下地地区 全5か所	
		効果 課題 行政連絡員へ共同募金の目的や法的根拠、計画募金である意味、配分方法やその使途を丁寧に説明することで、代理で戸別募金を集め行政連絡員への理解を得られることができている。多くの参加者が集うよう時間の調整も行っているが参加者の増には至っていない。	評価
			A

事業名	内 容		
	目的	内 容	
赤い羽根共同募金依頼	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保を行い社協活動への理解を深めてもらう。	
	詳細	宮古島市内外の業者・会社・官公庁・民間事業所・各団体へ赤い羽根共同募金（職域募金・法人募金・団体募金）への協力依頼。	
	実績	※件数等については実績資料（21）	
	効果課題	新型コロナ感染症を警戒して戸別訪問を控えている行政連絡員もおり感染症の影響はいまだに残っている。コロナ禍による社会環境の変化で生活に困窮する世帯も増加しており共同募金の担う役割や必要性を改めて伝えることで理解を得られている。旧町村部では高齢者が多くいる自治会もあり集金に行くことをためらうとの意見もよく見られ、集金の方法を誤解している場合があるため説明会や文書で明確に記載し周知していく必要がある。市街部では自治会組織や隣人の交流が薄く訪問しても対応してもらえないといった意見もよく聞かれており、行政連絡員の精神的な負担が増加しているのは課題といえる。	評価 A
赤い羽根共同募金街頭募金	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保、思いやりの心助け合いの心を育てる。	
	詳細	学生ボランティアへ依頼し店舗前で募金活動。市内の商業施設店舗前にて学生ボランティアを中心に実施する。	
	実績	○12/3 平良中生徒29名 ○12/3 宮古高等学校生徒18名	○市内2店舗にて実施
	効果課題	歳末たすけあい募金活動の一環として市内2店舗に協力を仰ぎ街頭募金を実施した。従来の大声で募金への協力を求めるることはせずに音響CDで呼びかけ、羽根の受け渡しに関しても募金者本人に羽根を抜き取ってもらうといった方法をとり実施した。呼びかけには職員の他にも市内高等学校と中学校の学生ボランティアに協力を依頼し実施している。	評価 A
赤い羽根共同募金イベント募金	目的	自主財源確保と相互助け合い活動資金の確保、思いやりの心助け合いの心を育てる。	
	詳細	学生ボランティアへ依頼し募金活動。宮古島市内で開催されるイベントと協力し学生ボランティアを中心にイベント募金を実施する。	
	実績	未実施	
	効果課題	次年度は学生ボランティアと連携を取り、市内で開催されるイベント情報に注意し計画していく。	評価 C
地域歳末助け合い運動	目的	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。	
	詳細	宮古島市市内の業者・会社・官公庁へ歳末職域募金として協力依頼。	
	実績	※件数等については実績資料（22）	
	効果課題	実績額としては例年通りであった。十分な義援金額を確保するために本年度は街頭募金を市内2店舗前で実施しており学生ボランティアの協力もあり多くの募金が集まった。しかし予定していた配分金額には達せず若干金額が落ちた義援金額となった。次年度は募金実施カ所を増やし募金の増額を目指す。	評価 A

事業名		内 容	
歳末チャリティーアイベント	目的	多くの義援金の協力を得ることにより、生活に困窮する世帯が明るいお正月を迎えるようにする。	
	詳細	例年は伊良部地区で開催、イベントはグラウンドゴルフ大会。	
	実績	未実施	
	効果課題	チャリティイベント募金による募金実績の増額が見込まれる為、実施を計画する。 ここ数年、実施していないが、地域住民の福祉意識の向上や地域住民の交流を活発にする目的も兼ねる。	評価 C
チャリティーバザー	目的	家庭内の不用品を持ち寄り販売し資源のリサイクルと自主財源の確保を行う。	
	詳細	役職員へ呼びかけ、家庭内で不要になったものをチャリティーバザーで販売し自主財源の確保を行う。	
	実績	未実施	
	効果課題	家庭内の不要品を集める等の準備ができておらず、開催に至っていない。資源のリサイクル及び自主財源の確保に対する活動の一つとして、令和5年度実施に向けて調整していきたい。	評価 C
福祉資金造成芸能チャリティー公演	目的	宮古島市内外で活躍している芸能家有志及び福祉資金造成の趣旨に賛同される方々の御協力を得て、より充実した福祉事業の推進と、多様な福祉ニーズへの対応を図っていくことを目的に開催する。	
	詳細	宮古島市で活動する芸能団体へ参加を依頼し芸能チャリティー公演を開催。	
	実績	未実施	
	効果課題	新型コロナウィルス感染症の影響により、開催準備が整わず開催中止となっている。新型コロナも収束の兆しを見せ、活動制限も緩和されていることから、令和5年度の実施に挑みたい。	評価 C

介護保険関連事業			
事業名		内 容	
訪問介護事業	目的	自宅において身体の清潔保持、身の回りの清潔保持、食事介助等の支援により在宅生活の継続。	
	詳細	介護福祉士やホームヘルパーが自宅に赴き、入浴、排泄、食事等の介護、掃除、洗濯、調理等の援助、通院時の外出移動サポート等の日常生活のお世話をを行う。	
	実績	※件数等については実績資料（23）	
	効果課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 人員不足と車両不足により新規の受け入れが難しい。 管理者等の人材育成が喫緊の課題としてあげられる。	評価 B

事業名		内 容	
通所介護事業		家族介護負担の軽減、バランスの取れた食事、入浴、日常生活訓練、健康チェック等で在宅生活の維持を図る。	
	詳細	要介護状態にある高齢者がデイサービスセンターへ通い、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練を日帰りで行う。	
	実績	※件数等については実績資料（24）	
	効果 課題	令和4年度は前年度の通所伊良部事業終了に伴う職員の3名増員、車両の追加があり、人員の面では利用者受け入れの体制が整いつつあるが、一方で利用件数が横ばいとなっていることから、厳しい収支状況となっている。	評価 B
小規模多機能型 居宅介護事業	目的	介護を必要とされている人が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、柔軟な対応を行う。 施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を行う。 小規模多機能型居宅介護事業所きや一ぎ（城辺地区）城辺字長間 小規模多機能型居宅介護事業所たかやま（下地上野地区）上野字新里	
	詳細	事業所がある地域の高齢者を対象とする。 小規模多機能型居宅介護事業所に配置されているケアマネージャーがケアプランの作成する。 登録定員はきや一ぎ29名、たかやま25名となっている。	
	実績	※件数等については実績資料（25） 新規で加算をとり収入が大幅に増加した。 利用者も安定しており今後継続して地域の高齢者福祉へ貢献していく。	
	効果 課題	総合/職員の確保、広報活動に難があるため、人員確保のための施策を検討していく必要がある。 たかやま/本事業は立地条件からも日々の業務が地域住民の目に触れる機会が少ないと考えられるため、事業所の運営理念となっている「住み慣れた地域とのつながりを大切にし、安心できる環境づくりに努める」を実践し、地域に必要な事業所として認知して頂けるような取り組みを行っていく必要がある。 きや一ぎ/相談件数が年々増え、地域の中で事業所が果たすべき役割を強く感じるが職員不足の為、業務遂行が困難になっている。職員募集を続けているが新規雇用はないままである。深刻な人で不足の中では、登録定員を減らし業務縮小も考える必要があると考えている。	評価 A
障害者総合支援 事業	目的	障がい者総合支援法に基づき障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービスの実施。	
	詳細	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、障害福祉サービス ①居宅介護（食事や入浴、トイレなどの介助） ②生活介護（日常的な介護や見守り、生活支援などを必要としている方（原則として障害支援区分「3」以上であること）に対して、日中の介護、介助や見守り支援を行うほか、創造的活動や生産活動、地域との交流活動などを支援） ③重度障害者等包括支援（最重度の障害（原則として障害支援区分が最重度の「6」であること）があり、常時の介護を必要としている方に対して、居宅介護や短期入所、生活介護など複数の介護サービスを組み合わせて支援） ④同行援護（視覚障害により自力での移動が難しい方に対して外出時の支援）	
	実績	※件数等については実績資料（26）	
	効果 課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 人員不足と車両不足により新規の受け入れが難しい。 管理者等の人材育成が喫緊の課題としてあげられる。	評価 A

事業名	内 容		
一般旅客自動車運送事業	目的	通院時の乗降介助や移動困難な方の外出が実施できるよう法令に基づき実施。	
	詳細	道路運送法により移動支援、病院への送迎等のサービスを実施するために当事業実施が必須となっている。 道路運送法第78条第2号に定める乗車定員11人未満の自動車で、運行時に寝台及び車椅子を固定することのできる設備を有する特殊用途自動車で旅客運送事業を行う。	
	実績	※件数等については実績資料(27)	
	効果 課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 介護タクシーは人員不足により十分な対応ができていない。	評価 A
事業名	内 容		
移動支援事業 (宮古島市より受託)	目的	外出のための支援を行う事により地域における自立生活及び社会参加の促進を図る事を目的に実施。	
	詳細	屋外での移動が困難な障がい者等に対して、車両での送迎、介助者による付き添い等外出のための支援を行う。	
	実績	※件数等については実績資料(28)	
	効果 課題	城辺、伊良部、下地、上野地区のサービスが多く、サービスが不足している地域において重要な役割を果たしている。 現在利用している利用者については、可能な限り対応できているが、職員と車両不足の為、新規については十分な対応が難しい。	評価 A

2. 組織体制強化に向けた取り組み

共同募金、会費等自主財源、補助金充当事業			
事業名	内 容		
評議員会	目的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他評議員会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年3回開催	
	実績	※件数等については実績資料(33)	
	課題 効果	令和3年度事業報告及び決算、令和5年度事業計画及び予算の審議が行われた。	評価 AA
理事会	目的	事業計画・資金収支予算の審議、事業報告・決算報告の審議、定款及び各種規程等の改正、新設に伴う審議、その他理事会で審議が適当と認められる事項の審議。	
	詳細	年3回開催	
	実績	※件数等については実績資料(34)	
	課題 効果	令和3年度事業報告及び決算、令和5年度事業計画及び予算の審議が行われた。	評価 AA

事業名		内 容	
役員会	目的	会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回程度開。	
	実績	令和4年度は合計23回開催。	
	課題 効果	課長会議で検討された事項の報告や法人内の重要な案件などが協議され、方針等の確認がされるとともに内部統制に重要な役割を果たしている。	評価 AA
課長会	目的	事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による事業実施に関するさまざまな協議。必要に応じ担当職員を招集。	
	詳細	月に2回～3回程度開催。	
	実績	令和4年度は28回開催。	
	課題 効果	各課の事業運営に関する細かな状況報告や課題検討等が行われ、事務局長を含む課長間の共通認識が維持できており、連携が図られている。	評価 AA
事業専門部会議	目的	各事業ごとに事業推進に関し必要な事項を協議。	
	詳細	各事業において随時開催。	
	実績	各課、各事業において専門職会議等定期的に開催。	
	課題 効果	専門的立場における情報共有や各種課題解決に向けた協議がなされ、各分野におけるサービスの質の向上につながっている。	評価 A
決算監査	目的	監事による令和2年度事業報告及び決算報告を監査。	
	詳細	監事二人による監査、一人は会計業務に関する監査、一人は事業内容による監査。	
	実績	令和4年5月に監査委員2名による決算監査を実施。事業報告、会計書類等の監査が無事行われた。	
	効果 課題	決算監査により事業運営や経営等が規律に則り適正に実施されていることが確認された。	評価 AA
第三者委員会	目的	宮古島市社会福祉協議会の実施する事業への苦情へ適切に対処するため設置。	
	詳細	第三者委員（2名）会長、副会長、事務局長、企画総務課長、地域福祉課長、事業課長による苦情受付状況報告及び解決に向けた会議。	
	実績	未実施	
	効果 課題	新たな第三者委員の選任が令和4年3月理事会で行われた。	評価 C
職員研修	目的	社会福祉協議会事業、リスク管理、各種制度等について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。	
	詳細	①全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ②各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果 課題	接遇研修、交通安全研修を実施し。管理職向けにハラスメントについての研修会を実施。職員の理解を深めることができた。	評価 AA

事業名	内 容		
新任職員研修	目的	新任職員のスキルアップを図る。	
	詳細	雇用3年以内の職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業についての基礎知識を学ぶ。	
	実績	11月に開催し、10名の職員が参加。社会福祉協議会の概要、事業内容、財務等について講義を行った。	
	効果課題	社会福祉協議会で実施する事業や業務に従事するうえでの基本的な知識技術を学ぶことが出来た。アンケート結果を踏まえて充実させていく。	評価 A
事業課職員研修	目的	事業課所属の各部署を対象に研修を行い、職員のスキルアップ、自分たちが働いている社協への理解、災害時対応、緊急時の対応、交通事故などにあった時の対応などを学んでいく。	
	詳細	①全職員を対象に、宮古島市社会福祉協議会で行っている様々な事業について理解を深めるとともに、各事業相互の連携を深める。 ②各課において所属課の事業への理解を深めるとともに、事業相互の連携を図る。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	予定通り年間12回の研修実施を行った。 それぞれの事業の業務の都合上、同日での開催が困難なため書面研修とした。 課題としては講師を招いた研修と異なり、理解や解釈が個人により異なる可能性があるため、今後は動画を活用した研修も必要と考えられる。	評価 A
事業課各部署ミーティング	目的	事業課の各部署において事業課長、事業管理者（又は代表者）、職員が一堂に会し、各事業所の基本方針、当該月の計画等を話し合い統一した意識のもとサービスが実施できるよう行う。	
	詳細	事業課各部署にて1～3ヶ月1回ミーティングを行う。	
	実績	※研修実績	
	効果課題	職員との意見交換を行うことで職員の思いや要望を聞くことが出来た他、事業の収支状況を説明し職員に対し、コスト意識や自身の行う事業についての状況の理解をすすめた。	評価 A

実績資料

(1) 宮古島市長寿大学開設運営事業【宮古島市】(延べ人数)

講座・地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三味線 平良・老福			8	24	3	7	18	18	21	7	9	0	115
大正琴 平良・老福			28	21	16	15	27	7	9	19	8	0	150
舞踊(日舞) 平良・老福			24	11	16	4	0	19	22	24	0	0	120
歌と発声 平良・未来創造			8	5	15	17	24	13	10	19	19	0	130
フラダンス 平良・ゆいみなー			6	20	20	19	20	16	15	0	0	0	116
硬筆・筆ペン 平良・ゆいみなー			11	13	0	5	24	5	4	0	0	0	62
ヨガ 平良・下崎			6	4	13	9	18	20	15	0	0	0	85
舞踊(琉舞) 平良・久松			36	0	27	16	40	42	28	20	0	0	209
舞踊(琉舞) 平良・西原			95	61	35	0	41	47	30	10	15	0	334
舞踊(日舞) 平良・池間			15	19	11	17	16	22	15	0	0	0	115
大正琴 伊良部・老福			18	12	6	15	12	11	5	10	6	0	95
舞踊(琉舞) 伊良部・老福			0	14	13	3	17	16	11	12	0	0	86
三味線 伊良部・老福			10	14	9	5	6	13	13	0	0	0	70
舞踊(日舞) 伊良部・老福			15	15	15	14	16	9	10	4	0	0	98
三味線 城辺・社福			12	13	13	14	16	17	14	0	0	0	99
大正琴 城辺・社福			2	3	6	4	5	4	4	0	0	0	28
クラフト 城辺公民館			15	17	16	15	17	18	4	0	0	0	102
舞踊(日舞) 上野・老福			26	22	17	20	27	10	8	13	9	0	152
大正琴 上野・老福			18	18	14	13	11	10	0	20	6	0	110
三味線 上野・老福			6	14	12	8	13	8	9	10	5	0	85
大正琴 下地・老福			9	16	8	13	14	9	4	7	4	0	84
合 計	0	0	309	288	251	199	344	307	238	138	66	0	2,445

令和3年度総利用件数	1,922件	令和4年度総利用件数	2,445件	前年比	127.21%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

(2) ボランティア依頼等

内 容	開 催 日	派 遣 ボ ラン テ ィ ア	人 数
24時間テレビ街頭募金	令和4年8月28日	宮古高校・宮古総合実業高校 平良中学校・久松中学校	中止
令和4年度「歳末たすけあい運動」に伴う街頭募金	令和4年12月3日	宮古高校・平良中学校	48 名
令和4年度宮古島市身体障害者レクリエーション大会	令和5年3月5日	宮古総合実業高校	5 名

令和3年度総件数	3件	令和4年度総件数	2件	前年比	66.67%
----------	----	----------	----	-----	--------

ボランティア保険申込受付

保 険 名	件 数	保 険 名	件 数
ボランティア活動保険	13 件	ボランティア行事保険	32 件
福祉サービス総合補償	3 件	送迎サービス補償	2 件

令和3年度総件数	33件	令和4年度総件数	50件	前年比	151.52%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

(3) ふれあい生きいきサロン 域福祉活動事業、共同募金配分事業（高齢者サロン）

No	サロモン名	No	サロモン名	No	サロモン名
1	ぶからすサロン	9	ローズサロンの会	17	あじさい
2	向日葵の会	10	富名腰までいたサロン	18	はだしの会（新規）
3	たんぽぽ	11	ゆうむつ会タナフグサロン	19	タウヤマ（新規）
4	とびとりサロン	12	福山ゆうむつ会	20	いずみの会（新規）
5	たんぽぽの会	13	野越サロン	21	サバウツ（新規）
6	池間みやらび	14	すなかぎサロン	22	さつきサロン（新規）
7	東部サロン	15	ユクダキサロン		
8	竹の子会	16	宮古島イキイキ向上委員会		

上記以外でも地域福祉計画推進事業、生活支援コーディネーター設置事業、介護予防普及啓発事業と連携し実施

令和3年度総件数	19件	令和4年度総件数	22件	前年比	115.79%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

(4) 宮古島市地域福祉計画推進事業【宮古島市】

◇相談延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	117	108	124	125	109	124	110	119	130	119	118	196	1,499

令和3年度総件数	563件	令和4年度総件数	1,499人	前年比	266.25%
----------	------	----------	--------	-----	---------

◇地域福祉懇談会開催状況

日付	会場	参加人数	備考
2022年4月24日	高野集会場グラウンド	26名	高野入植60周年記念グランドゴルフ大会
2022年7月26日	池間公民館横	7名	地域の話や身近な話題について話し、住民の皆さんと親睦を深める。
2022年9月8日	新城公民館	5名	高齢者の居場所づくりについて
2022年10月5日	友利公民館	8名	問題行動のある認知症高齢者の対応について
2023年2月12日	皆福公民館	26名	1、地域福祉懇談会の目的、2、CSWの周知・活動内容の説明、3、小地域ネットワークの体制づくりについて

令和3年度総件数	2件	令和4年度総件数	5件	前年比	250.00%
----------	----	----------	----	-----	---------

◇小地域ネットワーク協力員会議開催状況

開催地区	開催回数	参加人数(延べ)	開催地区	開催回数	参加人数(延べ)
大浦地区	3回	60名	福西地区	2回	8名
西原	1回	5名	皆福地区	1回	26名
平良第一地区老人クラブ	1回	15名	西西地区	1回	9名
荷川取	1回	8名	前里添地区	1回	7名
池間	2回	12名	伊良部地区	2回	34名
福山	1回	12名	嘉手苅地区	5回	36名
平良第一・民生委員	4回	80名	来間地区	2回	11名
高野	3回	70名	上地地区	3回	13名
東川根4区	2回	20名	与那霸	1回	4名
県営東団地	1回	30名	川満	1回	6名
新城地区	3回	22名	野原地区	2回	14名
吉野地区	1回	10名	下南地区	1回	6名
福南地区	2回	8名	友利地区	1回	8名

令和3年度総件数	28件	令和4年度総件数	48件	前年比	171.43%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

◇その他の事業及び研修会等参加状況

日本語教室開催（毎週水曜日）

宮古島在外国人出身者を対象に出前講座開催(50回)※コロナ禍でのリモート実施含む

【国 別】・フィリピン・韓国・タイ・ネパール、ベトナム・フィジー等

令和3年度総件数	9件	令和4年度総件数	50件	前年比	555. 56%
----------	----	----------	-----	-----	----------

(5)自治会サポート助成事業

月日	申請自治会名	内容	参加人数
令和4年6月19日	西中自治会（城辺）	グラウンドゴルフ・バスケットボール大会	35名
令和4年6月19日	西西自治会（城辺）	令和4年度父母交流グラウンドゴルフ大会	26名
令和4年6月27日	来間自治会（下地）	カーカスウガン	9名
令和4年7月2日～令和4年9月30日	狩俣自治会（平良）	令和4年度熱中症対策事業	280名
令和4年7月24日	長浜自治会（伊良部）	長浜ゲートボール場及び子供広場の清掃	10名
令和4年9月15日	保良自治会（城辺）	地域住民世代間交流事業（十五夜祭り）	45名
令和4年11月6日	新城自治会（城辺）	ふれあいグラウンドゴルフ大会	50名
令和4年11月13日	千代田ハイツ自治会（上野）	千代田ハイツ自治会清掃	23名
令和4年11月27日	東川根4区（平良）	東川根4区グラウンドゴルフ交流大会	20名
令和4年11月27日	名嘉山自治会（上野）	子ども激励会	33名
令和4年12月4日	県営平良東団地自治会（平良）	清掃活動及び交流会	90名
令和4年12月11日	大浦自治会（平良）	大浦自治会忘年会	30名
令和4年12月18日	漲水（平良）	花植え及び道路（歩道）の清掃活動	13名
令和4年12月18日	高野自治会（平良）	忘年会グラウンドゴルフ大会	30名
令和4年12月27日	池間自治会（平良）	池間島ビーチクリーン作戦	15名
令和5年1月2日	福山自治会（平良）	新春グラウンドゴルフ大会	40名
令和5年1月2日	大神自治会（平良）	新年会	39名
令和5年1月3日	大原一区（平良）	植樹枠整備事業	3名
令和5年1月29日	七又自治会（城辺）	ゲートボール大会	12名
令和5年1月29日	友利自治会（城辺）	世代間交流会（新年会）	50名
令和5年2月12日	野原越自治会（平良）	野原越公民館花いっぱい運動	15名
令和5年2月12日	皆福自治会（城辺）	自治会内のボランティア清掃	40名
令和5年2月26日	東川根2区自治会（平良）	自治会清掃及び交流会	13名

※その他、腰原自治会（平良）へ助成を行ったが、自治会判断により事業中止の為、返還。

令和3年度総件数	17件	令和4年度総件数	23件	前年比	135. 29%
----------	-----	----------	-----	-----	----------

(6) 介護予防普及啓発事業（生きいき教室）【宮古島市】

地区名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平良老人福祉センターA	63	58	66	36	51	21	58	73	55	55	53	73	662
平良老人福祉センターB	61	58	54	26	48	38	44	63	53	54	72	55	626
下崎・西原	52	31	37	15	30	28	24	34	38	31	37	36	393
荷川取	46	31	42	22	26	34	35	36	54	48	37	55	466
狩俣	24	26	24	12	0	16	17	23	26	24	24	28	244
伊良部	31	29	24	24	12	16	25	30	27	30	27	28	303
西城A	46	43	50	22	22	16	39	31	33	27	30	32	391
城辺	26	29	26	22	21	19	41	38	38	42	43	37	382
西城B	33	14	41	36	35	43	40	42	44	44	41	43	456
福嶺	77	37	73	61	29	57	65	46	61	73	50	59	688
砂川	68	36	61	40	25	61	74	71	71	62	64	70	703
川満・来間	45	36	36	24	15	28	25	35	39	41	56	30	410
与那覇	35	25	35	33	0	25	30	32	25	33	26	15	314
上地	31	30	39	39	0	26	33	32	31	31	27	19	338
洲鍬、棚根、嘉手苅、入江	32	36	31	7	7	16	21	28	14	23	12	19	246
上野	53	47	64	44	32	40	64	49	73	79	78	51	674
合計	723	566	703	463	353	484	635	663	682	697	677	650	7,296

令和3年度総件数	4,809件	令和4年度総件数	7,296件	前年比	151.72%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

(7) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場くれよん）【宮古島市】

延べ人数

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用状況（乳幼児）	29	42	81	69	67	68	89	110	119	120	145	194	1,133名
利用状況（保護者）	29	40	81	69	68	67	89	105	106	113	140	180	1,087名
電話相談（休止期間）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	名

令和3年度総件数	1,885人	令和4年度総件数	2,220人	前年比	117.77%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

事業名	開催日	参加人数	事業名	開催日	参加人数
親子ウォーキング（植物園）	R4・4・15	8名	9月生まれの誕生会	R4・9・29	12名
こいのぼり製作	R4・4・18~5・2	12名	ベビーマッサージ	R4・10・5	8名
4・5月生まれの誕生会	R4・5・13	6名	ハロウインの集い	R4・10・27	8名
親子ヨガ	R4・5・19	6名	絵本の講座	R4・11・22	11名
親子クッキング（さくら餅）	R4・5・25	4名	クリスマスリース作り	R4・11・25	8名
子育て講座「赤ちゃんの歯のケア」	R4・6・8	10名	クリスマス会&12月生まれの誕生会	R4・12・9	17名
父の日プレゼント作り	R4・6・13~17	16名	1月生まれの誕生会	R5・1・20	17名
親子クッキング（パン粉のケーキ作り）	R4・6・22	6名	節分の集い	R5・2・2	18名
七夕まつり会	R4・7・7	8名	親子クッキング（スティックチョコパン）	R5・2・14	10名
7月生まれの誕生会	R4・7・14	8名	ひなまつり会	R5・3・2	17名
シーサー作り	R4・7・7~8	14名	2・3月生まれの誕生会	R5・3・14	18名

令和3年度総件数	19件	令和4年度総件数	22件	前年比	115.79%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

(8) 地域包括支援センター受託事業【宮古島市】

◇総合相談事業

ひらら	年間延べ件数	1,129 件	実数	571 件	認知症支援推進員活動件数	1 件
みやこ	年間延べ件数	904 件	実数	350 件	認知症支援推進員活動件数	0 件
計		2,033 件		921 件		1 件

令和3年度総件数	2,193件	令和4年度総件数	2,033件	前年比	92.70%
----------	--------	----------	--------	-----	--------

◇権利擁護事業

ひらら	虐待通報件数	12 件	事実確認件数	12 件
みやこ	虐待通報件数	9 件	事実確認件数	9 件
計		21 件		21 件

令和3年度総件数	21件	令和4年度総件数	21件	前年比	100.00%
----------	-----	----------	-----	-----	---------

◇包括的・継続的ケアマネジメント

会議名	地区	回数	参加人数
地域ケア会議	ひらら	38回	679名
	みやこ	39回	676名
介護支援員との会議	ひらら	5回	
	みやこ	1回	
共催または参加会議	ひらら	126回	
	みやこ	142回	
介護支援専門員への支援	ひらら	23回	
	みやこ	18回	

令和3年度総件数	367回	令和4年度総件数	392回	前年比	106.81%
----------	------	----------	------	-----	---------

◇一般介護予防事業

内 容	回 数 又 は 件 数			参 加 延 ベ 人 数		
	ひ ら ら	み や こ	計	ひ ら ら	み や こ	計
相談件数	0 件	2 件	2 件			0 件
介護予防教室の開催	0 回	3 回	3 件	0 名	23 名	23 件
介護予防に関する講話	21 回	9 回	30 件	587 名	201 名	788 件
地域リハビリテーション活動支援	184 回	282 回	466 件			0 件

令和3年度総人数	341名	令和4年度総人数	811名	前年比	237.83%
----------	------	----------	------	-----	---------

◇指定介護予防支援事業

	ひ ら ら	み や こ	計
介護予防ケアプラン作成件数	1,606 件	1,459 件	3,065 件
介護予防ケママネジメント	1,354 件	1,269 件	2,623 件

令和3年度総件数	5,254件	令和4年度総件数	5,688件	前年比	108.26%
----------	--------	----------	--------	-----	---------

◇認知症カフェ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	5	3	3	3	0	1	5	5	6	6	5	6	18回
参加人数	38	22	21	23	0	9	38	50	59	44	42	52	113名

令和3年度総人数	113名	令和4年度総人数	113名	前年比	100.00%
----------	------	----------	------	-----	---------

(9) 居宅介護支援事業

月 介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護支援	92	91	89	84	83	89	89	87	87	85	84	82	1,042
予防支援	2	3	3	3	3	5	5	5	5	6	5	6	51
予防ケアマネジメント	3	1	1	3	3	3	3	3	2	2	1	2	27
合 計	97	95	93	90	89	97	97	95	94	93	90	90	1,120

令和3年度総利用件数	1,132件	令和4年度総利用件数	1,120件	前年比	98.94%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

◇ケアプラン検討会議 53回

(10) 特定相談事業

地 区 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
しゃきょう	6	4	6	7	4	3	2	6	5	6	7	6	62 件

令和3年度総利用件数	65件	令和4年度総利用件数	62件	前年比	95.38%
------------	-----	------------	-----	-----	--------

(11) 日常生活自立支援事業（権利擁護）【沖縄県社会福祉協議会、宮古島市】

◇相談援助件数 4,302 件/年

◇契約締結件数 2 件/年

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援件数	445	351	459	370	339	323	419	398	428	403	346	381	4,662

令和3年度総利用件数	4,991件	令和4年度総利用件数	4,662件	前年比	93.41%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

◇年度末利用者数	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合 計
件 数	22 件	40 件	43 件	105 件

令和3年度総利用件数	109件	令和4年度総利用件数	105件	前年比	96.33%
------------	------	------------	------	-----	--------

(12) 法人後見受任事業【宮古島市】

◇相談、支援件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談援助件数	258	211	327	272	192	271	262	258	258	204	170	241	2,924
利用者数	29	29	29	29	30	30	29	29	29	28	28	27	346

令和3年度総利用件数	3,405件	令和4年度総利用件数	2,924件	前年比	85.87%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

◇年度末利用者内訳

	認 知 症 高 齢 者	知 的 障 が い 者	精 神 障 が い 者	そ の 他	合 计
件 数	8 件	10 件	9 件	0 件	27 件

令和3年度総利用件数	29件	令和4年度総利用件数	27件	前年比	93.10%
------------	-----	------------	-----	-----	--------

◇会議開催及び研修参加状況

- ・運営審査会開催3回
- ・法人後見推進会議等参加21回
- ・後見制度小規模口座6回

(13) 歳末助け合い運動配分実績額

世帯種別	合計	世帯種別	合計
一人暮らし高齢者	119世帯	母子父子世帯	31世帯
高齢者世帯	29世帯	長期療養児(者)を抱える世帯	9世帯
寝たきり高齢者を抱える世帯	4世帯	障害児(者)を抱える世帯	3世帯
生活困窮世帯	14世帯	合計	209世帯
一世帯当たりの配分額	2,500円	配分額	522,500円

令和3年度件数	211件	令和4年度件数	209件	前年比	99.05%
---------	------	---------	------	-----	--------

(14) フードバンク活動

(食品個数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
寄付	1,293	828	1,252	2,591	1,590	784	860	1,324	1,425	1,036	846	1,406	15,235
提供	1,101	1,009	526	642	917	621	781	743	1,085	645	981	1,086	10,137

◇フードバンク利用者状況 737回 延べ数

世帯種別	利用回数	世帯種別	利用回数
ひとり親世帯	217	コロナウイルス感染症による収入減世帯	7
多子世帯	78	認知症を抱える世帯	11
高齢者世帯	98	身体障がい児(者)を抱える世帯	3
精神障がい児(者)を抱える世帯	36	アルコール依存症を抱える世帯(者)	24
単身世帯	102	引きこもりを抱える世帯	16
生活保護世帯	7	外国人世帯	0
知的障がい児(者)を抱える世帯	22	障がい児療養中の世帯	0
D V被害世帯(者)	14	ホームレス	33
生活保護申請中の世帯	9	失業中の世帯	30
病気・傷病療養中世帯(者)	25	ギャンブル依存症世帯	5

令和3年度件数	327件	令和4年度件数	737件	前年比	225.38%
---------	------	---------	------	-----	---------

(15) 宮古島市地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業【宮古島市】

◇フードバンク「んまんま」と協働している企業

企業名	内容
宮古島市役所エコアイランド推進課	理想通貨の配布
株式会社沖縄銀行 宮古支店	フードボックスの設置
たびのホテルLIT	フードボックスの設置
ホテルローカス	フードボックスの設置
離島未来ラボ	フードバンク活動の周知
おきなわこども未来	食品提供
イオン琉球株式会社 市内2店舗	イエローレシートキャンペーン・フードドライブ実施協力
沖縄県メモリアル整備協会宮古島 メモリアルパーク	定期的な食品の寄贈・講習会への講師派遣
第一生命保険株式会社宮古島オフィス	チラシ配布

令和3年度件数	9件	令和4年度件数	9件	前年比	100.00%
---------	----	---------	----	-----	---------

◇フードバンクへの寄付協力 団体・企業数

企業30社	団体 3.	学校（児童生徒）2校	行政 1
-------	-------	------------	------

令和3年度件数	26件	令和4年度件数	30件	前年比	115. 38%
---------	-----	---------	-----	-----	----------

◇不用品マッチング

寄付者（個人8名 企業3社 5団体）

品 名	寄付者数	品 名	寄付者数
衣類	企業3社	生理用品	個人・団体

マッチング先及び回数

品 名	回数	品 名	回数
児童館	50回	高齢者施設	12回
こども食堂	4回	無料塾	30回

◇市民講習会の実施

実施回数 9回 参加人数 160回

	期日	講演テーマ	講師	参加人数	備考
1	2023/7/19（火）	様々な詐欺問題回避	洲鎌加代子氏	13名	
2	2023/8/4（木）	あなたの色を選んで	天の川智子氏	18名	
3	2023/9/10（土）	世界74か国を訪問して	池城直氏	19名	
4	2023/9/16（金）	上手に生きるための終活	東恩納寛寿氏	20名	
5	2023/9/17（土）	上手に生きるための終活	東恩納寛寿氏	20名	2回目開催
6	2023/10/8（土）	世界74か国を訪問して	池城直氏	20名	2回目開催
7	2023/10/22（土）	中高生向けのマナー講座	JAL職員	11名	

令和3年度件数	9件	令和4年度件数	7件	前年比	77. 78%
---------	----	---------	----	-----	---------

（16）生活福祉資金貸付事務【沖縄県社会福祉協議会】

◇月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	158	123	208	193	185	172	62	52	80	137	115	87	1,572

令和3年度件数	5,391件	令和4年度件数	1,572件	前年比	29. 16%
---------	--------	---------	--------	-----	---------

◇対応別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	60	51	85	128	100	73	40	23	40	64	46	38	748
電話	98	72	123	65	85	99	22	29	40	73	69	49	824
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	158	123	208	193	185	172	62	52	80	137	115	87	1,572

◇貸付状況

	相談件数	申請件数	承認件数	不承認件数	貸付金額
福祉資金	118件	0件	0件	0件	0円
教育支援資金	47件	1件	1件	0件	271,000円
緊急小口資金	155件	2件	2件	0件	167,000円
緊急小口資金特例	356件	132件	128件	4件	25,400,000円
総合支援資金	38件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金特例	279件	129件	121件	8件	63,450,000円
総合支援資金特例延長	0件	0件	0件	0件	0円
総合支援資金特例（再貸付）	23件	0件	0件	0件	0円
不動産担保型生活福祉資金	8件	0件	0件	0件	0円
償還	2件	0件	0件	0件	0円
該当なし	80件	0件	0件	0件	0円
合計	1,106件	264件	2,016件	12件	89,288,000円

令和3年度承認件数	2,016件	令和4年度承認件数	252件	前年比	12.50%
-----------	--------	-----------	------	-----	--------

◇償還状況

	相談件数	申請件数	承認件数	不承認件数	金額
通所貸付償還	28件	0件	0件	0件	0円
特例貸付償還免除	233件	不明	1,406件	68件	489,300,000円
特例貸付償還猶予	205件	57件	50件	0件	16,400,000円
合計	466件	57件	1,456件	68件	505,700,000円

※特例貸付免除申請について、申請方法が借受人と県社協との直接対応の為、件数は不明。

また、承認件数・不承認件数・金額については、県社協より通知書が届き次第、把握可能となる。

※猶予申請は、申請月と決定月に時差がある為、申請件数＝承認件数＋不承認件数とは限らない。

令和3年度承認件数	0件	令和4年度承認件数	1,461件	前年比	
-----------	----	-----------	--------	-----	--

(17) くらしのサポート事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	8	8	9	6	3	2	0	4	1	2	3	1	47

令和3年度総利用件数	206件	令和4年度総利用件数	47件	前年比	22.82%
------------	------	------------	-----	-----	--------

(18) 宮古島市地域介護予防活動支援事業【宮古島市】

◇通いの場

通いの場名	実施回数	参加人数(延べ)	通いの場名	実施回数	参加人数(延べ)
1 大神偉人の会	8回	74名	19 まいねんみ会(成川)	23回	273名
2 水浜会(池間)	28回	445名	20 袖山うむやすクラブ	15回	152名
3 パーツトゥ笑楽校(島尻)	25回	311名	19 和(なごみ)の会・与那覇	18回	357名
4 福々(福山)	43回	679名	20 かわみつ	0回	名
5 大浦	39回	481名	21 いんがなす会(新里)	0回	名
6 かりまた	2回	5名	22 ぶからす会(長南)	0回	名
7 がんずう会(神屋)	24回	324名	23 たかうす健康クラブ(比嘉)	23回	222名
8 ふなこし	24回	393名	24 スンダティ(上区)	23回	310名
9 活々ハッピー会(保里2区)	22回	197名	25 吉野	40回	454名
10 和(ハート)の会・東団地	20回	132名	26 ユクダキがんずう会(西東)	45回	484名
11 高野	20回	280名	27 加治道結いの会	4回	51名
12 かぎするう(下崎)	20回	203名	28 福西	5回	86名
13 お笑い会(腰原)	24回	310名	29 なかばりの会(仲原)	9回	105名
14 りんりん会(腰原)	24回	306名	30 がじゅまるの会(長浜)	23回	237名
15 莊幸会(東川根)	37回	507名	31 なかち	28回	308名
16 あさつゆの里会(添道)	23回	182名	32 さらはま	4回	17名

令和3年度件数	26件	令和4年度件数	32件	前年比	123.08%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

◇いきいき百歳体操

地 区 名		実 施 回 数	参 加 人 数 (延べ)		地 区 名		実 施 回 数	参 加 人 数 (延)	
1 池間		48回	733名	18	袖山		22回	209名	
2 島尻		35回	426名	19	与那覇		37回	724名	
3 西原		36回	175名	20	上地		43回	406名	
4 福山		43回	679名	21	川満		13回	66名	
5 大浦		43回	540名	22	新里		0回	名	
6 狩俣		0回	名	23	宮国		15回	184名	
7 神屋		97回	1,075名	24	野原		8回	31名	
8 富名腰		47回	704名	25	長南		0回	名	
9 保里2区		39回	334名	26	比嘉		48回	424名	
10 東団地		41回	242名	27	上区		59回	691名	
11 高野		30回	414名	28	吉野		43回	457名	
12 下崎		49回	487名	29	砂川		19回	92名	
13 腰原		46回	329名	30	西中		0回	名	
14 東川根		45回	636名	31	西東		88回	889名	
15 宮原		47回	453名	32	新城		37回	319名	
16 久松		27回	154名	33	長浜		42回	383名	
17 アバビル		3回	20名	34	仲地		44回	383名	
16 七原		46回	323名	35	佐良浜		29回	121名	
17 荷川取		43回	370名						

令和3年度件数	33件	令和4年度件数	35件	前年比	106.06%
---------	-----	---------	-----	-----	---------

(19) 宮古島市指定管理者運営事業

センターネーム		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮古島市社会福祉センター	件数	45件	43件	58件	51件	44件	49件	57件	56件	55件	47件	46件	48件	599件
	人数	580名	527名	678名	559名	403名	560名	661名	670名	674名	599名	597名	667名	7,175名
宮古島市平良老人福祉センター	件数	22件	11件	5件	13件	25件	30件	38件	30件	31件	9件	16件	37件	267件
	人数	173名	61名	27名	90名	45名	75名	120名	120名	120名	84名	178名	292名	1,385名
宮古島市伊良部老人福祉センター	件数	5件	5件	0件	9件	10件	8件	15件	14件	14件	1件	2件	20件	103件
	人数	138名	102名	0名	79名	139名	44名	175名	140名	71名	32名	11名	166名	1,097名
宮古島市上野老人福祉センター	件数	20件	1件	0件	20件	12件	16件	32件	34件	37件	4件	12件	30件	218件
	人数	237名	3名	0名	156名	94名	134名	302名	348名	374名	49名	110名	209名	2,016名
合計	件数	92件	60件	63件	93件	91件	103件	142件	134件	137件	61件	76件	135件	1,187件
	人数	1,128名	693名	705名	884名	681名	813名	1,258名	1,278名	1,239名	764名	896名	1,334名	11,673名

令和3年度参加人数	10,458名	令和4年度参加人数	11,673名	前年比	111.62%
-----------	---------	-----------	---------	-----	---------

(20) 自主財源確保活動

◇社協会員会費加入促進の取り組み

会費説明会開催

会員会費実績額

戸別会費		賛助会費		団体会費		特別会費		合 計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
93	1,738,100	87	627,800	10	53,000	78	835,000	268 件	3,253,900 円

令和3年度実績額	1,178,130円	令和4年度実績額	3,253,900円	前年比	276.19%
----------	------------	----------	------------	-----	---------

(2 1) 赤い羽根共同募金の取り組み強化

赤い羽根共同募金実績

◎実績額 3,748,382円 ◎目標額 4,960,000円 ◎達成率 75.6%

募金種別	戸別	職域	街頭	学童	法人	個人	イベント	その他
金額(円)	1,898,298	599,081	0	643,526	586,000	1,523	0	19,954
令和3年度実績額	4,425,221円	令和4年度実績額	3,748,382円	前年比	84.70%			

(2 2) 歳末助け合い運動実績額

◎実績額 612,917円 ◎目標額 1,000,000円 ◎達成率 61.3%

募金種別	職域	イベント	個人	法人	街頭
金額(円)	444,552	0	23,629	17,000	127,736

令和3年度実績額	502,697円	令和4年度実績額	444,552円	前年比	88.43%
----------	----------	----------	----------	-----	--------

(2 3) 訪問介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	562	623	543	551	487	462	588	558	577	460	556	534	6,501

令和3年度総利用件数	9,119件	令和4年度総利用件数	6,501件	前年比	71.29%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

(2 4) 通所介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
城辺	233	249	203	259	189	246	328	332	266	291	293	331	3,220
計	233	249	203	259	189	246	328	332	266	291	293	331	3,220

令和3年度総利用件数	4,757件	令和4年度総利用件数	3,220件	前年比	67.69%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

(2 5) 小規模多機能型住宅介護事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
きや一ぎ	912	903	932	813	925	789	939	923	955	806	901	1,225	11,023
たかやま	441	486	472	456	372	356	463	481	468	508	459	366	5,328
計	1,353	1,389	1,404	1,269	1,297	1,145	1,402	1,404	1,423	1,314	1,360	1,591	16,351

令和3年度総利用件数	15,651件	令和4年度総利用件数	16,351件	前年比	104.47%
------------	---------	------------	---------	-----	---------

(2 6) 障害者総合支援事業

障害者総合支援（訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	538	548	544	540	520	470	491	476	493	482	460	478	6,040

令和3年度総利用件数	6,500件	令和4年度総利用件数	6,040件	前年比	92.92%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

障害者総合支援（同行援護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	58	58	74	69	66	69	78	80	75	69	65	69	830

令和3年度総利用件数	804件	令和4年度総利用件数	830件	前年比	103.23%
------------	------	------------	------	-----	---------

障害者総合支援（重度訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	39	37	21	37	37	33	28	37	35	36	30	33	403

令和3年度総利用件数	390件	令和4年度総利用件数	403件	前年比	103.33%
------------	------	------------	------	-----	---------

（27）一般旅客自動車運送事業

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	204	192	226	225	203	190	225	291	295	247	229	257	2,784

令和3年度総利用件数	2,662件	令和4年度総利用件数	2,784件	前年比	104.58%
------------	--------	------------	--------	-----	---------

（28）移動支援事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	113	104	111	104	95	82	101	93	106	78	79	84	1,150

令和2年度総利用件数	1,363件	令和3年度総利用件数	1,150件	前年比	84.37%
------------	--------	------------	--------	-----	--------

（29）介護タクシー

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	0	1	2	2	3	7	0	1	2	0	1	0	19

令和3年度総利用件数	10件	令和4年度総利用件数	19件	前年比	190.00%
------------	-----	------------	-----	-----	---------

（30）高齢者見守り事業【宮古島市】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	69
きやーぎ	4	3	2	2	2	3	5	5	5	5	5	4	45
計	10	9	8	8	8	9	11	11	11	10	10	9	114

令和3年度総利用件数	148件	令和4年度総利用件数	114件	前年比	77.03%
------------	------	------------	------	-----	--------

（31）器具備品貸出状況

品名	回数	品名	回数
車椅子	40	杖	1
歩行器	2	餅つきセット	5
ポータブルトイレ	11	シャワーキャリー	1
車両	3	スロープ	1
シャワーチェア	4	ニュースポーツ・レク用具	30
ストレッチャー	0	会議用机・椅子	4

令和3年度総利用件数	29件	令和4年度総利用件数	102件	前年比	351.72%
------------	-----	------------	------	-----	---------

(3 2) 困難を抱えた市民への支援

◇宮古島市法外援護給付事業(地域福祉活動事業) 4件

令和3年度総利用件数	7件	令和4年度総利用件数	4件	前年比	57.14%
------------	----	------------	----	-----	--------

(3 3) 評議員会の開催

第1回 評議員会

日 時：令和4年6月17日 10：07～11：39

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 令和3年度事業報告承認について

議案第2号 令和3年度決算承認について

議案第3号 令和4年度資金収支一次補正予算（案）について

第2回評議員会

日 時：令和4年12月2日 10：03～10：29

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 令和4年度資金収支二次補正予算（案）について

第3回評議員会

日 時：令和5年3月22日 10：05～10：59

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 令和5年度事業計画（案）について

議案第2号 令和5年度資金収支予算（案）について

議案第3号 監事の補充選任（案）について

(3 4) 理事会の開催

第1回 理事会

日 時：令和4年6月3日 10：00～12：02

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 宮古島市社会福祉協議会給与規程改正（案）について

議案第2号 宮古島市社会福祉協議会育児介護休業規則改正（案）について

議案第3号 令和3年度事業報告について

議案第4号 令和3年度決算承認について

議案第5号 令和4年度資金収支一次補正予算（案）について

議案第6号 令和4年度第1回評議員会（定時）招集について

報告第1号 宮古島市社会福祉協議会経営改善計画評価について

会長職務執行状況報告

第2回 理事会

日 時：令和4年11月25日 10：00～12：02

会 場：宮古島市社会福祉センター ホール

議 題：議案第1号 宮古島市社会福祉協議会給与規程改正（案）について

議案第2号 宮古島市社会福祉協議会非常勤職員就業規則改正（案）について

議案第3号 宮古島市社会福祉協議会介護職員就業規則改正（案）について

議案第4号 宮古島市社会福祉協議会介護職員給与規程改正（案）について

議案第5号 令和4年度資金収支二次補正予算（案）について

議案第6号 令和4年度第2回評議員会招集について

会長職務執行状況報告

第3回 理事会

日 時：令和5年3月10日 10：08～11：31
会 場：宮古島市社会福祉センター ホール
議 題：
議案第1号 事務局規程改正（案）について
議案第2号 経理規程改正（案）について
議案第3号 給与規程改正（案）について
議案第4号 旅費規程改正（案）について
議案第5号 令和5年度事業計画（案）について
議案第6号 令和5年度資金収支予算（案）について
議案第7号 監事の補充選任について
議案第8号 令和4年度第3回評議員会招集及び議案について

(34) 役員会議、課長会議の開催

◇役員会議 23回 ◇課長会議 28回
◇決算監査の実施
日時：令和4年5月20日 場所：宮古島市社会福センター
◇社会福祉法人指導監査の実施
日時：令和4年10月21日 場所：宮古島市社会福センター

令和4年度研修・訓練実績

1. 全体研修

全体	開催月	実績	参加
内部研修	4月	宮古島市社会福祉協議会接遇研修	職員33名
	6月	宮古島市社会福祉協議会交通安全研修	職員10名
	11月	宮古島市社会福祉協議会初任職員研修	入職1年未満 職員10名
	12月	宮古島市社会福祉センター消防訓練	職員19名 利用者23名
	3月	宮古島市社会福祉協議会現任職員研修	職員6名
外部研修	11月	災害伝承プロジェクト防災講演会	職員3名

2. 企画総務課

企画総務課	開催月	実績	参加
内部研修	10月	くらしと法律（かりゆし長寿大学）	職員6名
外部研修	2月	障害者雇用制度説明会（那覇市）	職員1名

3. 地域福祉課

地域福祉課	開催月	実績	参加
内部研修	11月	地域福祉係職員研修（社協組織・社協の機能、社協活動に必要なスキル、業務連携等について）	地域福祉係全職員
外部研修	5月	令和4年度 生活福祉資金貸付事業 新任職員研修（Zoom）	恩河、垣花（敏） 佐久田、砂川
外部研修	5月～6月	市町村社協職員基礎研修（全5回 Zoom）	漢那、友利 恩河
外部研修	5月	生活福祉資金特例貸付における償還免除に関するオンライン説明会	恩河、佐久田 砂川
外部研修	5月	令和4年度 地域福祉担当者会議	友利、恩河
外部研修	7月	精神・発達障がい者しごとサポート養成講座&就労バースポート活用セミナー	恩河
外部研修	6月～8月	令和4年度全国福祉教育推進員研修	恩河
外部研修	6月	令和4年度 共同募金委員会（支会・分会）担当職員研修	恩河、垣花（敏）
外部研修	10月	自立支援協議会子ども支援部会主催発達障がい研修会	恩河
外部研修	11月	令和4年度 宮古島市防災講演会	恩河、垣花（敏）
外部研修	11月	福祉教育推進員連絡会	恩河
外部研修	11月	生活福祉資金特例貸付における償還猶予及び償還開始に関する説明会	恩河、佐久田 嵩原
外部研修	12月	令和4年度 沖縄県生活困窮者自立支援制度人材養成研修	恩河
外部研修	1月	令和4年度 福祉教育推進セミナー	恩河、垣花（敏） 川上、狩俣
外部研修	2月	令和4年度 被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営研修会	恩河
外部研修	3月	地域における公益的な取り組み実践セミナー	恩河
外部研修	5月	生活支援コーディネーターと初任者研修	通いの場コーディネーター1名
外部研修	10月	生活支援コーディネーター応用研修Ⅰ お宝を生かした地域づくり	通いの場コーディネーター1名
内部研修	12月	生活支援コーディネーター養成研修等事業における「地域づくり市町村支援業務」	通いの場コーディネーター1名 第2層生活支援コーディネーター1名
外部研修	2月	生活支援コーディネーター応用研修Ⅱ 生活支援体制整備事業送信・交流セミナー	通いの場コーディネーター2名
外部研修	3月	地域包括ケアシステムの構築に向けた高齢者の生活支援、介護予防に関する産業界との協働促進に関する調査研究」成果報告会	通いの場コーディネーター2名
外部研修	6月～3月	法人後見基礎研修Ⅲ（10回）	後見支援専門員
外部研修	8月～10月	成年後見人材育成研修（4回）	後見支援専門員
外部研修	11月～12月	沖縄県精神障害者の地域移行関係職員に対する研修（3回）	後見支援専門員
外部研修	2月	第19回支援者のための成年後見活用講座	後見支援専門員
外部研修	2月	令和4年度法人後見事業実施社協情報交換会	後見支援専門員

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	7月	令和4年度日常生活自立支援事業 事務局長・専門員連絡会	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	令和4年度日常生活自立支援事業 専門員オンライン研修会	日常生活自立支援専門員
外部研修	7月・2月	令和4年度第1回、第2回宮古島市地域包括支援センター運営協議会(2回参加)	日常生活自立支援専門員
外部研修	7月	令和4年度第1回宮古島市認知症初期集中支援チーム検討委員会	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	令和4年度 社協における権利擁護推進に向けた情報交換会	日常生活自立支援専門員
外部研修	11月～12月	沖縄県精神障害者の地域移行関係職員に対する研修(3回)	日常生活自立支援専門員
外部研修	9月～1月	小規模講座(日常生活自立支援事業)(3回開催)	日常生活自立支援専門員
外部研修	9月～1月	日常生活自立支援事業説明、生活支援員募集説明(伊良部地区、平良地区民生委員)	日常生活自立支援専門員
外部研修	2月	地域共生社会の実現のために(地区社協連絡会)	日自・後見専門員
外部研修	令和4年5月	各地区友愛見守り研修会	CSW4名
外部研修	5月	見守りとは～フレイユ・ひきこもり、認知症にならない!について	CSW1名
外部研修	6月	災害ボランティア支援に関する協定に基づく研修会	CSW2名
外部研修	7月	南海トラフ地震と宮古(気象台)	CSW1名
外部研修	8月	災害ボランティアに関する研修	福祉政策課2名 社協6名
外部研修	9月	沖縄県子どもの居場所・支援員企画研修 コース②	CSW1名
外部研修	9月	令和4年度市町村における包括的支援体制づくり推進セミ	CSW4名
外部研修	9月	R4沖縄県子供の居場所・支援員企画研修①「関係機関との連携」	CSW2名
外部研修	9月	R5沖縄県子供の居場所・支援員企画研修②「関係機関との連携」	CSW2名
外部研修	9月	コミュニティソーシャルワーカー研修	CSW1名
外部研修	10月	くらしと法律～沖縄県かりゆし長寿大学～	局長、総務課長、 CSW、事業家職員2名
外部研修	11月	THANKS(サンクス)運動推進セミナー～ヤングケアラー 子どもたちを地域で支えるために～	CSW2名
外部研修	11月	マイ道場・ニアヘルサ支援者向け説明会	CSW1名
外部研修	12月	コロナ禍における地域の生活課題と孤立しない・させない実践の在り方を探る	CSW1名
外部研修	12月	ひきこもり支援地域連絡会議	CSW1名
外部研修	1月	東洋大学社会福祉学科研究科専攻「地域支援・個別支援の実戦経験と実践能力向上に関する調査」協力	CSW1名
外部研修	1月	令和4年度福祉教育推進セミナー	CSW3名
外部研修	1月	令和4年度第2回市町村における包括的支援体制づくり推進セミナー	CSW3名
外部研修	1月	DV防止について考える講座in宮古島	CSW2名
外部研修	1月	統合失調症。生活困窮者の生活全般に関わる支援について	CSW1名
外部研修	2月	アルコール関連問題支援者研修会	CSW5名
外部研修	2月	困難を抱える子どもや子育て家族に対する支援を探る	CSW1名
外部研修	2月	宮古地区社協連絡協議会研修会	社協職員
外部研修	2月	医療的ケア児に対する支援推進施策説明会	CSW1名
外部研修	2月	宮古地区障害者虐待防止・権利擁護研修	CSW1名
外部研修	2月	沖縄国際大学経済学部経済学科准教授と講師来所宮古島市在外国人に関する聞き取り調査協力	CSW他10名
外部研修	2月	社協における困難を抱える子どもや子育て家族に対する支援を探る	CSW5名
外部研修	3月	「高齢者の生活支援・介護予防に関する産業界との協働推進に関する調査研究」成果報告	職員4名 CSW2名
外部研修	3月	SC-CAFÉ 地域包括ケアシステム成果報告会	CSW1名
内部研修	10月	フィジカルアセスメント	職員7名
	1月	体内時計	職員9名

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	4月	【介護保険】ケアマネジャー・福祉用具関連何が変わる！？	職員4名
外部研修	5月	ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	6月	地域包括と今後の展望	職員10名
外部研修	6月	相談援助におけるメタ認知活用	職員1名
外部研修	6月	ケアマネ更新研修	職員1名
外部研修	6月	認知症基幹病院連携会議	職員1名
外部研修	6月	介護保険とこれからのケアマネジメントの在り方	職員3名
外部研修	7月	市町村地域包括支援センター職員初任者研修	職員1名
外部研修	7月	認知症推進員現任研修	職員1名
外部研修	7月	ハートノートサミット	職員2名
外部研修	7月	BCP	職員2名
外部研修	7月	介護予防ケアマネジメント	職員6名
外部研修	7月	食からの認知症予防	職員1名
外部研修	7月	腸内環境からみた食物繊維の重要性	職員1名
外部研修	7月	いつまでもおいしく食べるために (うま味物質の働きを紐解く)	職員1名
外部研修	7月	がん診療と栄養	職員1名
外部研修	7月	女性の食生活や意識の変化に管理栄養士・ 栄養士はどうに対応する？	職員1名
外部研修	8月	ファシリテーション技法	職員1名
外部研修	8月	宮古島市のこれから	職員2名
外部研修	8月	第1回社協職員オンラインサロン	職員1名
外部研修	8月	災害ボランティア	職員1名
外部研修	8月	地域で支える避難行動要支援者	職員1名
外部研修	8月	在宅における食支援	職員1名
外部研修	8月	地域包括システムの展開	職員1名
外部研修	8月	これからの地域における在宅医療の展望と発展	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会シンポジウム1	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会シンポジウム2	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会一般発表1	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会一般発表2	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会一般発表3	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会一般発表4	職員1名
外部研修	8月	日本在宅栄養管理学会一般発表5	職員1名
外部研修	9月	コロナ禍における訪問看護の支援の現状と課題	職員3名
外部研修	9月	ICT活用方法	職員1名
外部研修	9月	市町村における包括的支援体制づくり推進セミナー	職員3名
外部研修	9月	認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	職員1名
外部研修	9月	家族信託	職員2名
外部研修	10月	地域共生社会現実に向けたCSW実践	職員1名
外部研修	10月	認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	職員1名
外部研修	10月	認知症になった時の備えあれこれ	職員2名
外部研修	10月	多職種で取り組むポリファーマーシ	職員3名
外部研修	10月	認知症フォーラム認知症にやさしい地域づくり	職員1名
外部研修	10月	パーキンソン病について知ってほしいこと	職員3名
外部研修	11月	チーム連携に活かせるケアプラン	職員4名
外部研修	11月	肥満解決に向けた保健指導栄養指導	職員4名
外部研修	11月	介護連携のリアルケアマネとの対談	職員4名
外部研修	11月	WHOガイドラインからみた認知症の発症リスク低減	職員2名

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	11月	高齢者の権利擁護	職員1名
外部研修	11月	コロナ禍で活用できる社会資源	職員1名
外部研修	12月	多様化するカスタマーハラスメント	職員1名
外部研修	12月	メンタルヘルスケア研修	職員1名
外部研修	12月	肥満解決栄養保健指導	職員5名
外部研修	12月	就労支援と地域支援	職員3名
外部研修	1月	全世代の活躍支援	職員3名
外部研修	1月	若い世代のつながりづくり	職員3名
外部研修	2月	高齢者の慢性便秘治療法	職員1名
外部研修	2月	身寄り問題解決について	職員7名
外部研修	2月	精神疾患虎の巻	職員5名
外部研修	2月	アルコール関連問題支援研修	職員2名
外部研修	2月	コロナ感染した高齢者の受け入れ体制について	職員2名
外部研修	2月	肥満解決へ向けた保健栄養指導	職員2名
外部研修	2月	就労支援と地域支援	職員1名
外部研修	2月	就労的活動的支援（生活支援コーディネーター）	職員1名
外部研修	3月	BCP策定支援	職員3名
外部研修	3月	認知症当事者とその家族支える	職員9名
外部研修	3月	認知症当事者とその家族支えるセンター職員の役割	職員2名
外部研修	3月	2025にむけた介護予防マニュアル活用の必要性と重要性	職員6名
外部研修	3月	集団指導	職員2名
内部研修	6月	高齢者包括支援センターの実践と今後の展望	職員8名
	1月	体内時計と栄養について	職員8名
外部研修	5月	認知症高齢者の栄養について	職員1名
外部研修	6月	ケアマネ協会総会・基調講演（介護保険制度）	職員1名
外部研修	6月	第1回認知症疾患医療連携協議会	職員1名
外部研修	7月	アセスメント研修会	職員6名
外部研修	7月	大阪心不全地域医療連携の会	職員4名
外部研修	7月	認知症地域支援推進員現任研修	職員1名
外部研修	7月	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	職員2名
外部研修	8月	介護支援専門Ⅱ	職員1名
外部研修	8月	主任介護支援専門員の役割と課題	職員1名
外部研修	8月	災害ボランティア支援に関する研修会	職員1名
外部研修	8月	地域で支える避難行動要支援者に関する研修会	職員2名
外部研修	8月	第2層勉強会	職員1名
外部研修	9月	包括的支援体制づくり推進セミナー	職員1名
外部研修	9月	居宅介護支援の業務改善	職員1名
外部研修	9月	家族信託を知る	職員2名
外部研修	9月	認知症地域支援体制全国合同セミナー	職員1名
外部研修	9月	第二層との事務調整会議	職員2名
外部研修	9月	在宅医療介護スクラム塾「訪問介護」	職員1名
外部研修	9月	介護支援専門員Ⅱ	職員1名
外部研修	9月	生き岱イ対象者への食支援について説明会議	職員1名
外部研修	10月	令和4年度コミュニティーソーシャルワーカー研修	職員1名
外部研修	10月	多職種で取り組むポリファーマシー	職員3名
外部研修	10月	フィジカルアセスメント	職員5名
外部研修	10月	共生と予防を考える地域づくり	職員1名
外部研修	10月	認知症になったときのあれこれ	職員1名
外部研修	10月	多職種コンソーシアム	職員1名
外部研修	11月	保健指導・栄養指導	職員3名
外部研修	11月	チーム連携の極意、ケアプラン実践編/連携先進地域の事例から学ぶ	職員5名
外部研修	11月	令和4年度沖縄県高齢者権利擁護研修	職員1名

地域福祉課	開催月	実績	参加
外部研修	11月	認知症疾患医療センターWEB講演会参加(ガイドラインから見た認知症の発症リスクの軽減)	職員2名
外部研修	11月	高齢者入退院支援者向けセミナーについて	職員1名
外部研修	12月	肥満の解決に向けた保健指導と栄養相談	職員3名
外部研修	12月	就労支援と地域支援について	職員3名
外部研修	12月	カスタマーハラスマント(主任ケアマネ研修)	職員1名
外部研修	12月	生活支援体制事業から多世代交換へ	職員1名
外部研修	12月	メンタルヘルス研修	職員1名
外部研修	1月	孤独を防ぐ「地域づくり」人材養成研修「全世代と活躍支援」	職員2名
外部研修	1月	孤独を防ぐ「地域づくり」人材養成研修「若い世代のつながり」	職員1名
外部研修	1月	認知症地域支援推進員研修	職員1名
外部研修	2月	コロナに感染した在宅高齢者の受入と対応連携について	職員1名
外部研修	2月	入退院デザイン「身寄り問題解決に向けて」	職員6名
外部研修	2月	高齢者における慢性便秘について	職員2名
外部研修	2月	孤立を防ぐ地域づくり	職員1名
外部研修	2月	コロナに感染した在宅高齢者の受入に向けて	職員1名
外部研修	2月	精神疾患の虎の巻(統合失調について)	職員2名
外部研修	2月	ヘルスアップ事業第3回肥満解決へ向けた保険栄養指導	職員2名
外部研修	2月	就労的活動支援コーディネーター	職員2名
外部研修	2月	宮古地区社会社会福祉協議会研修	職員1名
外部研修	2月	アルコール関連問題支援者研修	職員2名
外部研修	3月	認知症当事者とその家族を支える	職員2名
外部研修	3月	介護予防マニュアル第4版セミナー	職員4名
外部研修	3月	B C P 災害時における研修	職員1名
外部研修	3月	集団指導研修	職員1名
外部研修	3月	役所との意見交換会	職員1名
外部研修	3月	はちわれ体操教室	職員1名
会議	4月	第1回宮古地区社協定例会	地区社協会員
外部研修	5月	市町村社協職員基礎研修	地域福祉課長 他2名
内部研修	5月	新入職員オリエンテーション	職員4名
外部研修	5月	市町村社協職員基礎研修2回	地域福祉課長 他2名
内部研修	6月	第1回 災害ボランティア支援に関する協定に基づく研修会	地域福祉課長 他
外部研修	6月	社協職員基礎研修第4回	地域福祉課長 他2名
外部研修	6月	社協職員基礎研修第5回	地域福祉課長 他2名
内部研修	8月	第2回 災害ボランティア支援に関する協定に基づく研修	地域福祉課長 他
外部研修	8月	令和4年度災害時相互応援協定に基づく市町村社会福祉協議会事務局長連絡会	地域福祉課長
外部研修	2月	法人後見事業意見交換会(県社協)	地域福祉課長 専門員1名
内部研修	2月	ハラスマント研修	事務局長以下 正規職員
外部研修	2月	宮古地区社協研修会	地区社協役員他 職員
外部研修	2月	生活福祉資金貸付事業会計説明会	地域福祉課長

4. 事業課

事業課	開催月	研修名等	参加
内部研修	4月	書面研修（介護における「身体拘束」とは？基本情報と廃止への取り組み例）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	5月	書面研修（ハラスメントについて）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	6月	書面研修（認知症について学ぶ）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	7月	書面研修（認知症ケアに携わる介護職員は意識すべきポイント）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	8月	書面研修（熱中症について学ぶ）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	9月	書面研修（新型コロナウイルス感染症について学ぶ）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	10月	書面研修（介護のヒヤリハット報告書の事例30選。原因と対応策の例文付き）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	11月	書面研修（介護事業所における業務継続計画（BCP）について）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	12月	書面研修（社協の規程、規則について）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	1月	書面研修（誤嚥の対処法について）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	2月	書面研修（介護現場での言葉遣いとは？）	全事業課職員へ資料配布
内部研修	3月	書面研修（ユマニチュードとは？）	全事業課職員へ資料配布

居宅介護支援事業所

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
内部研修	4月	書面研修（介護における「身体拘束」とは？基本情報と廃止への取り組み例）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	5月	配信研修（主任介護支援専門員更新研修）	内間
内部研修	6月	書面研修（認知症について学ぶ）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	6月	配信研修（主任介護支援専門員更新研修）	内間
内部研修	6月	書面研修（認知症について学ぶ）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	6月	宮古支部定例会及び研修会	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	6月	県協会定期総会及び研修会	内間、友利、濱川
内部研修	7月	書面研修（認知症ケアに携わる介護職員は意識すべきポイント）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	7月	配信研修（主任介護支援専門員研修）	内間
外部研修	7月	県協会主催BCP研修	内間
外部研修	7月	記載例で学ぶ居宅介護支援経過	内間
内部研修	8月	書面研修（熱中症について学ぶ）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	8月	介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」	長嶺
外部研修	8月	宮古支部定例会及び研修会	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	9月	書面研修（新型コロナウイルス感染症について学ぶ）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	9月	介護支援専門員「専門研修課程Ⅱ」	長嶺
内部研修	10月	書面研修（介護のヒヤリハット報告書の事例30選。原因と対応策の例文付き）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	10月	主任介護支援専門員研修	長嶺
外部研修	10月	宮古支部定例会及び研修会	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	11月	書面研修（介護事業所における業務継続計画（BCP）について）	内間、長嶺、友利、濱川

居宅介護支援	開催月	研修名等	参加
外部研修	11月	主任介護支援専門員研修	長嶺
内部研修	12月	書面研修（社協の規程、規則について）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	12月	主任介護支援専門員研修	長嶺
内部研修	12月	実地指導から運営指導について	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	1月	書面研修（誤嚥の対処法について）	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	2月	書面研修（介護現場での言葉遣いとは？）	内間、長嶺、友利、濱川
内部研修	3月	書面研修（ユマニチュードとは？）	内間、長嶺、友利、濱川
外部研修	3月	ハラスメントについて（本所：講師を招いて）	長嶺
外部研修	3月	宮古島市集団指導	長嶺
担当者会議、136回 ケース検討会等参加回数	9回	145回 ミーティング開催数	50回

小規模多機能型居宅介護事業所きやーぎ

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	4月	ケアマネ研修会	1名
外部研修	4月	初めてでもできるBCPの作り方	1名
内部研修	4月	高齢者施設を対象とした感染対策等	全職員
外部研修	4月	緩和ケア研修会	1名
内部研修	5月	感染対策勉強会	全職員
外部研修	5月	病院退院後の介護サービスにおける地域連携研修	1名
外部研修	5月	在宅医療介護スクラム塾「訪問看護」研修会	1名
外部研修	5月	ケアマネ研修	1名
外部研修	6月	第1回災害ボランティア支援に関する協定に基づく研修	1名
内部研修	6月	感染対策勉強会	全職員
外部研修	6月	介護保険制度とこれからのケアマネジメントのあり方について	1名
外部研修	6月	～日常の疑問解決～実地指導からの運営指導	1名
外部研修	6月	ケアマネ研修会	1名
外部研修	7月	BCP研修 災害時の業務継続計画（BCP）策定研修	1名
外部研修	7月	在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業第2回感染症予防研修会	1名
外部研修	7月	多職種連携研修	1名
外部研修	7月	認知症介護基礎研修	1名
外部研修	8月	介護支援専門員法定研修（専門Ⅱ）	1名
外部研修	8月	ケアマネ連絡会講話「宮古島のこれから」	1名
内部研修	8月	感染対策勉強会	全職員
外部研修	8月	「ICTがもたらす新しい連携のカタチ～在宅緩和ケア」	1名
内部研修	8月	抗原検査実施管理者研修	3名
外部研修	8月	認知症になった時の備えあれこれ	1名
外部研修	9月	第4回感染症予防研修会	1名
外部研修	9月	介護支援専門員法定研修（専門Ⅱ）	1名
内部研修	9月	感染対策勉強会	全職員

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	9月	家族信託を知る～加齢や認知症に備えるために～	1名
内部研修	10月	評価の学習	全職員
外部研修	10月	食品衛生責任者養成研修	1名
外部研修	10月	ケアマネ連絡会 研修「パーキンソン病について知って欲しい」	1名
外部研修	10月	多職種で取り組むポリファーマシー	1名
内部研修	10月	感染対策勉強会	全職員
外部研修	11月	終活について	1名
外部研修	11月	災害プロジェクト	1名
内部研修	11月	高齢者施設を対象とした感染対策勉強会	全職員
内部研修	12月	BLS研修	全職員
外部研修	12月	ケアマネ研修会	1名
外部研修	1月	社会福祉主事資格取得研修	1名
内部研修	2月	高齢者施設を対象とした感染対策勉強会	全職員
外部研修	2月	社会福祉主事資格取得研修	1名
外部研修	3月	集団指導	1名
ミーティング開催数			24回

小規模多機能型居宅介護事業所たかやま

内部・外部	開催月	研修名等	参加
外部研修	4月	沖縄県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会 BCP研修	普天間
内部研修	4月	介護における「身体拘束」とは？	職員全員
内部研修	5月	ハラスマントについて	職員全員
内部研修	6月	宮古島社会福祉協議会交通安全研修	職員全員
内部研修	6月	第1回災害ボランティア支援に関する協定に基づく研修会	普天間
内部研修	6月	認知症について学ぶ	職員全員
内部研修	7月	認知症ケアに携わる介護職員が意識するポイント	職員全員
内部研修	8月	熱中症について学ぶ	職員全員
内部研修	9月	災害時対応の基本	職員全員
内部研修	10月	介護のヒヤリハット報告書の事例30選	職員全員
内部研修	11月	利用者のプライバシーの取り組みに関する研修	職員全員
内部研修	12月	社協の就業規則、給与規程について	職員全員
内部研修	1月	高齢者の誤嚥時の対処法	職員全員
内部研修	2月	介護現場での言葉遣いとは？意識すべきポイントについて	職員全員
内部研修	3月	認知症や障がいの思い方の心をつかむケア法「ユマニチュード」とは？	職員全員
ミーティング開催数			24回